教 科【 】種 目【 国語 国語

研究委員氏名 1

報生

発行者の番号	2	発行者(
学年別の	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
教科書番号	109 · 110	209 • 210	309 · 310	409 • 410	509	609
	こ付ければ良い	な知識及びも して単元の最か分かりやす	最初に位置付い けくなっている	けられており、 る。	子ども自身	がどんな力を身、プリントを選

観

- できる工夫がされている。 ② 知識及び技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活用や情報活用 能力を育成する活動内容の工夫
 - ・全学年に「国語ノートの作り方」のページが設けられている。「デジタルノートの 作り方」は三年上より掲載されており、思考ツールを用いて学習を進めることも提 案がされている。

んで学習したり、書き順を確かめたりしながら、基礎的な知識を身に付けることが

点

- 「読む」「書く」の複合単元では、図や資料が適切に配置してあり、自分の考えに 取り入れやすい工夫がしてある。合わせて「情報のとびら」を扱うことで、子ども たちが情報の考え方を捉えやすくなっている。
- 主体的に学習に取り組む態度を養うと共に、補充的な学習や発展的な学習、家庭で の自主的な学習を促すための工夫

別

- ・「見通す」「取り組む」「振り返る」でどの単元も構成してあり、学習の流れの見 通しをもちやすくしている。
- ・年間を通して「こんな本もいっしょに」の読書の提案が単元ごとにあり、多様なジ ャンルの書籍に親しむための工夫がなされている。また、学校図書館や地域の図書 館施設、社会教育施設の活用を促すページもある。

の

特

- ④ 他教科との関連や実生活の場面への活用、探究的な活動の内容の工夫
 - ・単元の終末では、「生かそう」のコーナーで、具体的な場面を取り上げて学習した ことを活用できるように示されている。

- ・教科書単元と連動したQRコンテンツが「資料室」として用意されており、探究的 な学びへとつながりやすくなっている。
- ⑤ 伝統的な言語文化に親しむための工夫

- ・「伝えたい言葉」では古文や漢文、伝統芸能などを教材として日本語の美しさ豊かさ に触れられるようになっている。
- ・QRコードが掲載されていることで難しい日本語も正しい音声を通して学ぶことがで きる。
- (2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等
- ① 教材の構成・配列及び分量の工夫
 - ・巻頭にロードマップで年間の単元が示されていることで、見通しがもてるとともに 身に付ける「言葉の力」を意識して取り組める工夫がされている。
 - ・第2学年下巻まで分かち書きで記載されている。
- ② 表紙や挿絵、写真の大きさ、書体の工夫
 - ・一緒に学習するキャラクター4人を配置し、学習過程の様々な場面で吹き出しを通し て学習を導いたり、振り返りを促したりして、ともに学び、成長していく実感が得ら れやすいようにしている。

教科【国語】種目【国語】

1 研究委員氏名

2 報告								•	
発行者の番	号 17	発行者(の略称	教	:出				
学年別σ	1 年	2 年	3 4	Ŧ 4	4 年	5	年	6	年
教科書番号	号 111·112	211 • 212	311 • 3	12 41	1 • 412	511	• 512	611	• 612
	1) 内容の特徴・ ① 基礎的・基本 ・知識及び技能 葉の働きや漢 ・「話すこと・	的な知識及び に関する小単 字の力などを	元が「言 身に付け	葉の広場 るための	」と「漢 質・量と	字の広場 もに充実	島」に分け をしている) ₀	
観	知識が巻末に ② 知識及び技能 育成する活動内	を活用し、自							
	f 成 9 つ 佰 動 内・ 5 ・ 6 年 の 上した情報学習	巻の早い時期		-		⁻ る小単元	こが設けら	っれており)、学習
点	・書くことの教 表現する文章 的文章」では れられるよう	まで、多様な 、説明の展開	文種に触 の仕方を	れられる	ようにし	ている。	また、説	むことの	つ「説明
別	③ 主体的に学習 主的な学習を促	に取り組む態 すための工夫	度を養う		,				
σ	「まなびリン し、児童の「④ 他教科との関「ひろがる言	もっと学びた 連や実生活の 葉」の単元名	い」とい 場への活 _。 の下には	う思いに 用、探求 SDGs0	応えられ 的な活動 D 1 7 の	しるように 1の内容の 目標マー	している)工夫 クがあり、) _o	
特	付けたり、児 ・各学年の巻頭 言葉」でどん ットする活動 ・小単元「読書	の「ひろがる なことを学ん を設定してい	言葉 学 だのか、 る。	ぶこと」 また、ど	で学習の のように	見通しを生かすこ	さもち、巻 とができ	くるのかフ	アウトプ
徴	なども紹介さ 伝統的な言語	れており、実文化に親しむ	生活とのための工	関連付け 夫	がされて	いる。			

- ・全学年に「言葉の文化」の小単元があり、1年生から6年生までの全ての学年において日本の言語文化について分かりやすく親しむことができるようにしている。
- (2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等
- ① 教科書の構成・配列及び分量の工夫
 - ・全学年を分冊とし、1冊当たりの重量を軽くしている。分冊にしたことで全体のページ が増え、付録が充実している。
- ② 表紙やさし絵、写真の大きさ、字体の工夫
 - ・領域に応じてページの上部やサイドに「読むこと」は赤色、「書くこと」は青色、「話 す・聞く」は黄色で色の帯が引かれている。
 - ・「話す・聞く」「書く」「読む」「言葉」それぞれに絵と色の違うマークがあり、一目 見ただけで何の領域の学習なのかが判別できるようになっている。

教科【国語】種目【国語】

1 研究委員氏名

2 報	告											
発行者の番	号	3 8	発行者(の略称		光村						
学年別(カ	1 年	2 年	3 \$	Ŧ	4	年	5	年	6	年	•
教科書番-		113 • 114	213 · 214	313 • 3	14	413 •	414	5	13	(613	
	,			」という	単元	が第2				言葉の使	[い方	にお
観	(2	・巻末付録 している。知識及び技	「言葉の宝箱」 児童が思考、	や「伝え表現する自ら考え	.合う 際の	ための 言葉や	表現力	が法がまる	とめて示	されてい	る。	
点		・第2学年以 がまとめら	まいないエグ 人上の巻末に かれている。ま こ向けて考える	「図を使っ に第6学	年巻	末には	プロク					
別		・「書く」単 方法が書か	がた。 単元では、上段 いれており、児 目ら考えたり考	とに学習過 登がそれ	程を ぞれ	示し、 の学習	下段に 活動に	おいてる	それらに	着目しな	がら	書く
Ø		工夫されて ③ 主体的に学	こいる。	『態度を養								
特		・各単元の初 問いが生ま	Dめに「問いを にれやすいよう つりの「ふりか	たもとう」 になって	おり	、主体	的な学	とびへと	繋がる工	夫になっ	てい	る。
徴	(4	単元全体を ・他教科との ・小単元「本 なされてい	・通して学習内	 容を振り この場への こ回設け 1学期中	返り 活用 、図	、学び 、探求 書館の	を次へ 的な記 活用に	、活かせる 動の内容 こついて学	るように 字の工夫 学び、読	工夫され 書を広け	てい るエ	る。 夫が
	(2	伝統的な言・慣用句や短界を感じ取り、構成・配列をを配列を表す。対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、対するのでは、	言語文化に親し 歌・俳句、昔 ることが受し 別及い配列展 は上の学年によ 開きでととこれ	むための 話や簡単に るように を用上の便 が分て、を ようにな	な大等によっている。	典、狂i されてい 「国語 いる。 る	いる。 この学び また、	ドを見わけ つけたい	たそう」(力ごとに	のページ 単元が§	^ジ があ 整理さ	り、

- ている。 ② 表紙やさし絵、写真の大きさ、字体の工夫
 - ・表紙は、身近な動植物が鮮やかな色彩で、巻ごとの題名「わかば」「はばたき」などのテーマにそって描かれている。第6学年の表紙に全学年のモチーフが散りばめられていて、児童が懐かしく手に取る工夫がされている。

・第4学年までは上下巻2分冊構成で、第2学年上巻前半までは分かち書きで記載され

・「読む」単元の1ページ目には、児童が内容を端的にイメージできるような写真や絵が大きく配置されている。

教 科【 国語 】種 目【書写】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	2	発行者の	略称	東書		
学年別の	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
教科書番号	106	206	306	406	506	606

(1) 内容の特徴・表現

①基礎基本の定着を図るための工夫

観

- ・第1・2学年には、「しょしゃたいそう」が掲載され、二次元コードも添付されている。 姿勢や鉛筆の持ち方を意識し定着させられるようになっている。また、右利き・左利きの 鉛筆の持ち方、紙の押さえ方が実物大の写真で掲載されており、自分の手と比べながら確 かめられる。
- ・第4~6学年の巻頭には、毛筆の点画の名前と書き方が示されている。

点

・第3学年以上は、平仮名が毛筆での表記になっており、字形や点画のかき方が分かりやす くなっている。また、その学年で習う漢字については毛筆と硬筆の両方の表記になってい る。

別

- ・第1学年では、「ひらがなのかきかた」として「まがり」「おれ」「むすび」を別々のペ ージに掲載し、それぞれ丁寧に学習できるようにしている。
- ・第1学年では、平仮名の字形を整えるため、マスを4つに分けて番号を振っている。また 拗音や促音を書く場所を番号や色を強調し、分かりやすくしている。
- ②自ら考え、判断し、表現する力を育成するための工夫

0

特

- ・学習のポイントが「書写のかぎ」として示され、用語や内容などが端的に示されている。
- ・第2~6学年は、「①見つけよう②たしかめよう③生かそう④ふりかえろう」という課題 解決的な学習過程が表記されている。

・第2~6学年までの表紙裏のページが「おかしいな~」というシリーズで、書写に関する 問題発見・解決能力を育成する内容になっている。 その時間のめあてについて話し合う場が多く設定されている。また資料動画のある単元に

は、全学年二次元コードが示されている。動画にはねらいに沿ったナレーションが入って いる。

- ・第4~6学年の最終単元では、既習事項を基に自分で書く文字やめあてを設定するように なっている。
- ③伝統的な言語文化を尊重する態度を育てるための工夫
 - 「文字といっしょに」のシリーズで、第1学年「漢字の由来」、第2学年「いろは歌」、 第3学年「俳句」、第4学年「俳句」「百人一首」、第5学年「竹取物語」「奥の細道」 「枕草子」、第6学年「漢詩」「論語」が取り上げられている。
- ④日常生活や学習活動に生かすための工夫
 - ・身に付けた知識・技能を生活に生かす単元として「生活に広げよう」を設けている。国語や 他教科の学習で扱う書式や内容を題材に年間2か所設定している。(連絡帳・原稿用紙・手 紙)
- (2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等
- ①系統的な配列及び教材の分量の工夫
 - ・第1・2学年は、3~4単元、第3~6学年は、8~9単元で構成されている。学年の配 当時数を考えた単元数や分量になっている。
- ②見やすさ・使いやすさの工夫
 - ・全学年の巻末には該当学年までに学習した大切なこと(書写のかぎ)が記載されている。
 - ・第3学年以上の表紙裏には、系統別に目次を示しており、各学年の重点内容が一目で分か るようになっている。

教 科【 国語 】種 目【書写】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	1 7	発行者の	D略称	教出		
学年別の	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
教科書番号	107	207	307		507	607

(1) 内容の特徴・表現

- ①基礎基本の定着を図るための工夫
- ・全学年に平仮名表が書き順付きで掲載されている。
 - ・当該学年の漢字表は、第1・2学年は全書き順、第3学年以上は間違いやすい部分の書き順が記載されている。
 - ・第1・2学年は、「①はじめのがくしゅう」として姿勢や用具について丁寧に記載されている。 (消しゴムの使い方、机上の物の配置など)
 - ・第3学年以上は、PCやタブレット端末を使う際にも姿勢を意識するようにという記載がある。
 - ・第1・2学年で「よいしせいのあいことば」「えんぴつのもちかたのあいことば」が示されている。また、運筆等の練習のために、水書用紙を使ったり、体を動かしたりする「しょしゃのたいそう」が示されている。
 - ②自ら考え、判断し、表現する力を育成するための工夫
 - ・「はじめの学習」として「学習の進め方」(基本の学習過程)の確認がある。以後は「めあて⇒ ためし書き⇒まとめ書き⇒振り返り⇒活用」の学習の流れに沿って記載され、見通しをもちやす くしている。学年の発達段階に応じた問題解決的な学習過程になっている。
 - ・第3学年以上は最終単元「学習のまとめ」で、既習の観点(組み立て、配列、点画のつながり等)を 示しめあてを選んで学習活動に向かえるようにしている。
 - ・第5・6学年では自分のめあてに合わせた練習をするために、練習用紙の作り方が掲載されている。
 - ③伝統的な言語文化を尊重する態度を育てるための工夫
 - ・「知りたい 文字の世界」では文字そのものへの興味関心を高める単元を設けている。(活字、身の回りの文字とその印象など)
 - ・第3学年では「俳句」「漢字の成り立ち」、第4学年では「短歌」「かるた」、第5学年では「竹取物語」「平仮名のもとになる漢字」、第6学年では「俳句」「枕草子」が取り上げられている。
 - ④日常生活や学習活動に生かすための工夫
 - ・基本単元で身に付けた知識・技能を生活に生かす単元として「レッツトライ○○で生かす」を設けている。ポスターを書くときの字の大きさや配列、目的に合った書く速さを知るなど、どの教科のどんな場面で何について学ぶのかが明確にされている。
 - (2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等
 - ①系統的な配列及び教材の分量の工夫
 - ・第1・2学年は3~4単元、第3~5学年は8~9単元、第6学年は6単元で構成されており 学年の配当時数を考慮した単元数や分量となっている。
 - ②見やすさ・使いやすさの工夫
 - 二次元コードがあり、ウェブサイトを活用できるようになっている。
 - ・第3学年以上の最初の単元では名前の手本が入っていて、名前を書く位置や大きさの目安となっている。

点

の

別

特

教 科【 国語 】種 目【書写】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	3 8	発行者の	発行者の略称		光村		
学年別の	1 年	2 年	3	年	4 年	5 年	6 年
教科書番号	108	208	208 30		408	508	608

(1) 内容の特徴・表現

①基礎基本の定着を図るための工夫

- ・巻末に平仮名・片仮名・ローマ字・当該学年の漢字表を示し、き順や字形の定着を図っている。
- ・第3学年では、平仮名・片仮名表を硬筆・毛筆の2種類を掲載し、各の字形や点画のつながりが 分かりやすくなっている。
- ・第 $1\sim3$ 学年では、姿勢を意識するための「しょしゃたいそう」が掲載されている。また、左利き用の鉛筆の持ち方や紙の押さえ方が写真で示されている。タブレットを使う姿勢も示されている。
- ・第1学年では、平仮名の字形を整えるため、マスを4つに分けて番号を振っている。また拗音や 促音を書く場所を、番号や色を強調し分かりやすくしている。
- ・第3学年では、毛筆の筆圧の強い順を数字や言葉で表すことで分かりやすくしている。

②自ら考え、判断し、表現する力を育成するための工夫

- ・「こんなことはないかな」では、してしまいがちな書き方や誤字を載せ、よい字を書くことへの 必要感や意欲を高められるようにしている。
- ・第3学年から、学習の進め方として「①考えよう②たしかめよう③生かそう」という学習の流れが明確にされている。
- ・第5学年では、書くときの速さや文字の大きさ、第6学年では、情報を分かりやすく伝えるための工夫が取り上げられている。また、第2・3学年に「なぞとき」というテーマで、「整った文字を書くための決まりを見つけよう」という問題発見・解決する活動が取り上げられている。
- ・第3~6学年の最終単元では、既習事項を基に自分で書く文字やめあてを設定するようになっている。

③伝統的な言語文化を尊重する態度を育てるための工夫

・第1学年では「漢字の由来」、第3学年では「ことわざ」、第4学年では「俳句」「百人一首」 第5学年では「竹取物語」「枕草子」、第6学年では「俳句」「文字の歴史」が取り上げられて いる。

④日常生活や学習活動に生かすための工夫

- ・第6学年「書写ブック」では、6年間の学習内容と活用場面を別冊としてまとめることで、日常的に手に取り、実際に使えるようにしている。
- ・時事的な内容(SDGs、防災など)を、題材や資料に多数取り入れ、日常場面との関連を図り自分事として捉えやすくしている。
- ・基本単元で身に付けた知識・技能を生活に活かす単元として「書写広げたい」を設けている。国語 科や他教科の学習につなげている。また原稿用紙の使い方や手紙の書き方など日常生活に生かせる 内容を学年の発達段階に応じて設定している。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ①系統的な配列及び教材の分量の工夫
 - ・手本文や活用場面など、国語科教科書との関連が深くなっている。
 - ・全学年とも4~6単元で構成されている。
- ②見やすさ・使いやすさの工夫
 - ・指導者・保護者向けに巻末に全学年の系統性表を記載し、他学年とのつながりや当該学年での中心となる内容を明記している。
 - ・視覚支援として、学習場面のマーク(たいせつ、えんぴつで書こうなど)があり、全学年で用いられている。また、イラストを多用し、最小限で識別しやすい誌面(色、文字数)にしてある。
 - ・写真・動画のある単元には、二次元コードがある。動画は、利き手ごとに示している。

点

観

別

特

ഗ

教 科【 社会 】種 目【 社会 】

1 研究委員氏名

2 報 告						_	
発行者の番	号	2	発行者	の略称	東書		
学年別(の	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
教科書番·	号			305	405	505 · 506	605 • 606
	-)内容の特徴・					
	(1)	基礎的・基本的 ・			ffを図るための₽ Lの学年で学ぶ♡		
			うに示されて		- 07 子 + (子 2) (_ C V/P 1 合 V/ J	14111111
					て取り上げられ		
		その時間ごとしかりやすく示る	_	「調べる」「	まとめる」「い	かす」と学習の	のめあてが分
				シートなどがG	Rコンテンツと	して設けられ ⁻	ている。
観	2	思考力・判断力					
				」「万伝」など 方がわかりやす	ご見方・考え方だ けい	14目的となるマ	ークで示さ
					・、。 こして学習活動の	の内容が示され	ている。
<u>.</u> =		「まとめる」なる。					
点	(3)	、地図、年表/) 主体的に学習			て記載されてい		
		工夫					
	Œ				こした派生的な内で		
別	_	我が国や郷土の 展に寄与する態			kの、他国を导 <u>!</u>	載し、国际社会	の平和と発
	ŕ	第3学年では	、、「はたらく	人とわたしたち	らのくらし」でタ	本国と自分たち	の生活との
				きるようになっ	っている。 且んでいる自治体	未が取り しげた	カ また国
				が記述されて\		やが扱う工りら	40、よた国
の			では、竹島や	北方領土、尖閣	引諸島といった 危	頂土問題につい	て記載され
		ている。 ・ 第 6 学年では		国宝のマークカ	ぶ設置されている	ス また 日木	の世界文化
					で取り上げられ		
特				うになっている		たおし ひき 土	la TIVI
	(5)	・勇り字年では 実生活と関連付			はの様子、平和の と育成する活動に		れている。
		・SDGsについ	て、映像などを	ともとに学ぶこ	とができる特設	サイトが設け	_
幼中					考えよう」、第 て学習すること		「世界の未来
徴					のつながり、「		がは、問題解
		決につながる	事例など実生活	舌と関連付けて	考えやすくなっ		
	-)構成・配列及 児童の発達段階			៕•お上び分量の	カエキ	
	•	·当該学年以上	の配当漢字に	は、ふりがなか	が付されている。		
					ぶ大きく掲載され なれて、ハ豊が		
	(2)	・弗5、6字年 文字の大きさ、			いれて、分量が記 イアウト等の工き		0
		・UDフォントカ	が使用されてい	いる。			
		・本時のめあて・誰もが知るキ			る。 Pすく感じられる	ζ	
					見通しがもちやっ		0

教 科【 社会 】種 目【 社会 】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番	号		1 7	発行者の略称 教出									
学年別(カ	1	年	2	年	3 :	年	4	年	5	年	6	年
教科書番-	号					307		40	07	50	7	60)7
	1	基礎的 : 問題 : 問題 : 思考力	かむいい を解決しい かりとけい かい かい がい がい がい がい がい がい がい がい がい がい がい がい がい	なべてた がるいり 表現	まとめる生で重要した。	もの確実な る・つなり 要な言葉を ぐくむ活動 習に応じ	げる」 : 文章 hのた	と、各中で太空	時間の学 字にして 夫	学習段階 ていたり	が示さ 、「キ	れてい ーワー	る。 ド」と
観		見方が「まる」様にご	・考え方 り、 と と 紹介 され	内容に の活動 ている	そくし では、 思	「空間」 て、キャラ は考ツール を養い、神	ラクタ を活	ーのふ 用したā	きだしの長現活動	の中に太」など対	字で示話的な	されて 学習方法	いる。 去が多
点		・巻頭たて・各単	QRコー る。 元末には	ドが 5 利 こ、「も	重類用意 つと知り	使い方がる され、目) たい」と	的を	もって清	舌用する	ことが	できる。	ようにフ	なっ
別	4	我が国 展 日 つ 第 6 ・ 第 6 ・ 8 ・ 8 ・ 8 ・ 8 ・ 8 ・ 8 ・ 8 ・ 8 ・ 8	与する態 の領土、 て説明の 学年の歴	伝統を 譲渡 に変 に を に な に の の に る に る に る に の に る に 。 に る に 。 に る に る に る に る に る に 。 に る に 。 に る に る に る に る に 。 に 。 に る に る に る に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に る に 。 。	文化にからというというというというというというというというというというというというというと	ついて理解	ン、北 ②文、	方領土世界遺	、竹島、	尖閣諸	島をめ	ぐる現	状に
Ø	5	・第6 実生「 実生」 点で	学年の教 と関連付 なり返っ	科書の けて、 では、	巻末に見 問題発見 地域や初	見開き 1 ^ 見・解決能 社会のこれ 会的な「過	ページ と力を いから	にわた 育成す につい	って平和 る活動P て考え <i>†</i>	内容の充 こり、学	実 習内容	をSDG	sの視
特		生活に	とめる」 こ生かす 学年では	ことが	できるよ	面では、 うになっ 使う資料	ている	5。					
徴	(2 ①)構成 児童の ・各資 ・小単	・配列及 発達段階 料に適宜	を踏ま 、注目	えた内? してほし	上の便宜等 客の構成・ しいポイン 立時間ごと	・配列 ィトが	示され	ている。		が分か	りやす	くな
	2	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	にが学方、、大デン料つで年が4まきが4まきがりにかなきで説学とさりやカげるは明年め、ハルポタ	よ、さで方絵教イカれう「れはがや科ンナてにわてす工図書トのお	なくいご夫、本の記りっわるろさ写が違号、てく。くれ真使いが一	! 社会科グ で 第 5 で で で で で で で で で で で で で で で で で	ガーで レる。資い ド は イ ぎょう	」とし 思考ツ アウト などを。	て情報の ールな 等のエラ 見分け ^な	D集め方 ど各学年 た やすくな	、読みの発達	取り方 段階に	、ま

教 科【 社会 】種 目【 社会 】

1 研究委員氏名

2 報告										_			
発行者の番	号		1 1 6	角	終行者の	の略称		日文	Ţ			_	
学年別(の	1	年	2	年	3	年	4	年	5	年	6	年
教科書番·	号					30)8	4	:08	50)8	60	08
	(1)内容	で特徴・	表現						1		1	
	1	基礎的	J·基本的	な知識	及び技能	との確実 しんしゅう しょうしょ しょうしょ しょう かんしょ しょう かんしょ かんしょ かんしょ しゅうしゅ しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう し	な定着	を図る	ための	内容の充	実・創	意工夫	
		巻頭	原に社会科	の学習	の進めた	ちや教科	書の使	い方が	具体的に	こ示され	ている	0	
		・本文	こが 3 つの	役割に	分かれて	て、読解	しやす	いよう	に示され	れている	0		
			Jな言葉や									-	
			ページ左下							の学習か	が示さ	れてい	る。
観	(2)		ア・判断力							:) = 羊	= 11	ш ±	トファ
准尤			見方・考 <i>え</i> ぶできる。	てカコー	- ナー」	かめり、	、「空间	ョ・時[削・ 関係	:」に有り	∃し(、	思考了	9 0 0
			・できる。 学び方・記	国ベちっ	,_+ <u>_</u>	ーがち	n 学1	きなギョ	国べ古だ	ひけでわる	/ 丰钼/	D.4+士+	マレ学
			チリカー。			_)./J	川・・// /こ	.() (/4)	1 12 560	/2 14.23 / (ょこ子
点	(3)		に学習に					な学習	や発展的	的な学習	が促さ	れる創	意工
•••		夫			_ ,				, ,				
		・ま	とめる場面	面では、	QR =	ードを	読み取る	3こと	で、様々	なまと	め方をネ	舌用する	ること
		がて	ごきる。										
別			間や学習問									また	「さら
			考えたい間	_									7 700
	(4)		や郷土の				鮮を深	め、他	国を専	重し、国	際社会	の半和	と発
Ø			寄与する態 : 学年では				iffo L	ボ と あ	アルマ				
0)			子午では						-		にかす	る抗議	か主
			一ついて触										· \
			学年では									-	位置
特		づけ	けられてい	る。									
	(5)	実生	E活と関連	付けて	、問題多	発見・解	探決能力	を育成	する活動	動内容の	充実		
			Gsコーナ							智内容	や現代的	的な諸語	課題に
Alit	(0		へてより自					されて	いる。				
徴	_		え・配列及					五山 . 上:	・トッドノ乀」	型のエナ			
	(1)		₹の発達段 『対象につ									ている	
			年1冊に									(1.0)	0
			き 1 ペー						., = 113,494,	- 0, - 1	. 90		
	2		.c - この大きさ					-	ト等の	工夫			
		・グラ	フや地図	は、色	調や色の	り組み合	わせだ	けでな	く、斜紅	泉やドッ	ト、黒	色の境	界線
			ご正確に数					れてい	る。				
			デジタル			されて	いる。						
			トが大きく			11-1	> □ >> &1-	四)~ ^	7 1- 7 1	-, ,-		la :	7
		私た	ちの問題	という	平時のと	のあてが	间じ位	直にく	るように	こレイア	ワトさ	れてい	る。

教 科【 社会 】種 目【 地図 】

1 研究委員氏名

2									-			
発行者の番	号	2	多	発行者 (の略称		東書				1	
学年別(の	1 年	2	年	3	年	4	年	5	年	6	年
教科書番·	号				30	3	30	03	30)3	30	03
	(1)内容の特徴・	表現		•				I		ı	
	1	基礎的・基本	的な知	識及び打	支能の確	実な定	着を図	るための	の内容の	充実・	創意工	.夫
		地図帳のきま	りや使	い方なる	ビ基本的	な内容	を7ペ	ージにオ	ったって	説明を	してい	る。
		・地形や気候、										
		・どの地図でも		_	,, .				分かりや	っすくな	ってい	る。
	_	思考力・判断							\ .→° ↑	,). L	나타 55년 년	. п
観		問いと作業のごがらクイズや] では、	地図を	ど兄な
性 ル	3	かり かり から かって へい 主体的に 学習							-	羽が侃	される	創音
		工夫工夫	(CAX)		Z C RV	\ ImJu	りょう		ベロハヤユ	- H 1/1 I/L	CAVO	归11心
		・ドローン動画	や白地	図など	多様なQ	Rコンラ	テンツカ	ジ設けら	れてい	る。		
点		・過去の台風の			•						主題図	が取
		り上げられて	いる。									
	4	我が国や郷土					深め、	他国を尊	尊重し、	国際社	会の平	和と
D.I		発展に寄与す										
別		・全国各地の伝									れてい	る。
		・世界の民族衣									ブ 1、フ	
	(E)	・択捉島や竹島 実生活と関連									くいる	0
Ø	0	・ 天生品 C 関連 ・ 平成 3 0 年 7										
0,		・日本の産業や									-	: <.
		昔に比べ移動										. , ,
		• 日本列島全体	の災害	地図がる	あり、災	害の起	きる要	因や防災	災対策に	こついて	考察で	きる
特		ようになって	- 0									
	,	・SDGsについ					ができる	るサイト	が設け	られてい	ハる。	
	,)構成・配列及					だ は、よゝ	レッドハ E	∄ の ア +			
仙木	(1)	児童の発達段・第3学年以上							重い上大	•		
徴		・ 「日本列島を						-	たどと	いうと	うに玄	統的
		に配列されて		/UZI]	· H > T · · · >	70.73 E	J . PIS	U4E1E1]	٠, ۵, ۵, ۵	. • , 5) (C)(//yuh J
	2	文字の大きさ		図、写真	真の色使	い、レ	イアウ	ト等のこ	匚夫			
		・文字が縁取り	されて	おり、記	読み取り	やすく	なって	いる。				
		主題図が、ペ			刃られて	いる。						
		・UD書体が使用										
		日本や世界の					-					
		陸の高さや海南引の県庁所					くなって	こいる。				
		・索引の県庁所・地図上に、主				-	ケラブョ	言記され	ている			
		地囚工(5、土	′ょ歴又(<i>ソタ</i> ギロ *\	() (注例) ()*	月1十(二)	コナしむ	× п∟ С 4 l	(v · Ø °			

教 科【 社会 】種 目【 地図 】

1 研究委員氏名

発行者の習	6号	4	4 6	务	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の略称		帝国]			
学年別(の	1	年	2	年	3	年	4	年	5	年	6	年
教科書番	号					30)4	30	04	30)4	30	04
		基礎。 ・p7~ る。 ・p17	の特徴・ 的・基本 - 1 6 で ~ 2 0 で	的な知 は、地図 では、地	【帳のき	まりや	使い方	など基本	的な内	容が学	べるよ	うになっ	ってい
観		思考・「ト」・ 地図・ 「広」・ の学	にカラ帳く習的にな・イの人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人	力・表別は対対の表別では、大地が対対のでは、大力を表別である。	マスター につけら 」がある 使いやっ	ーへの道 られるよ ることで すくなっ	i」とい こうに 第3 で、 ないる	ったコ [、] ってい 、4学	ーナー? る。 年では、	岡山県	人の場所	や都道	府県
点	4	・動画 され ・現在の 我が[やクイズ ている。 の様子と 国や郷土	江戸時 [,] の伝統	代の様 ⁻ ・文化に	子の相違 こついて	さのペー 理解を	ジが設	けられて	ている。			
別		・世界の ・SDG れた	に寄与す のあいい の特設へ の領土で	つが音 ページが る。	声コンラ が設けら	テンツと れたり	して設、随所は	⊂SDGs	に関す	る資料や			
Ø	5	・「集」 てい。 実生	島が日本 まれ子 る。 関連 クルーシ	もたち	のコー、問題多	ーナーで 発見・解	だは、世 ア決能力	界各国 を育成	の子ど? する活動	もの写真 動内容の	充実		
特	(9)	自然・日本のる。	れている 災害の事 の食料問 ・配列及	例や防	いて食	事のイラ	ストを						
徴	1	児 成 に な な に い 文 き い 大 し し 日 大 表 引 に に に に に に に に に に に に に	・の見。の水色の県の尾の発わま大産を統ご見地の達たたき物フ計と方、及段す、さやいでにや青	階地各、工/は色引を図地絵業が、付き	ま詳ご図品吏もさをたいに写どれたいに写がれまれる。	内とでは、 内を図れるでは、 内をでは、 内をできませる。 大学では、 、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	は が が が が 、 使 もの もの もの もの にの にの にの にの にの にの にの にの にの に	ど、イさ のすい 生くてい 産ない	年の発達したい にっている。	達 段 は 夫 く る た 、 る た 、 ま ま 、 。 ま 、 ま 、 ま 、 ま 、 ま 、 ま 、 ま 、 ま	合わせなって	いる。 割合が	各地

教科【算数】種目【算数

1 研究委員氏名

2 報告								.	
発行者の番	号	2	発行者(の略称		東書			
学年別(の	1 年	2 年	3	年	4	年	5 年	6 年
教科書番·	号	112 • 113	212 • 213	312 • 3	313	412	• 413	512 · 513	612
	(1)	内容の特徴・表理	見						
	1	数量や図形につい	で基礎的・基本	的滤識・	技能の	確実なは	着を図る	ための工夫	
		・単元末には、学習						- • • - • • -	かめよう」を設
		け、理解や技能の			, -			- 0	
4 -□		ICT活用の一環と	•						の記録など児童
観		が主体的に練習に	取り組み、力を	つけること	ができ	るように	こしている	00	
		口类の古色と光明	파쉬 커디스 티그	1 ++++	//^	ا مرموعا	4. 2. -1. 1 . 191	トフムトナナンフ	ナルの エナ
点	_	日常の事象を数型 ・日常生活との関連							
<i></i>		取り組むことがて		–					
		見方・考え方に焦						「昇致いつ口」 でむ	WELL、 数子ロゾ よ
別		・主体的な学びを支				-	- 0	また トラに 老ラス	シェークタン学が
1,10		や振り返り、発展	• • •		-				
		な 。	0.30 MG 6.37C	D Chox	·				
の		90							
	3	習得した知識・打	始を日常生活や	学習の様々	な場面	で活用す	るための	江夫	
		・単元冒頭の 単元	プロローグ」や	単元末の「	いかし	てみよう	」を中心	として学校や目	常生活、他教科
特		との関連を重視し	た場面設定や活	動を取り入	れてい	る。			
		・世界レベンレで活躍	起ている人々の	算数とのか	かわり	について	語るコラ	ム「私と算数」	で、算数の身近
		さや有用さを感じ	ることができる	ように新設	されて	いる。			
徴			to 1 1 5 1 1 1						
	_	児童の学習意欲を					. –		
		2学年以上の巻末					易度別	ほじゅうのもん	たい」を設け、
		個の習熟度に応じ			-	- 0	11	4の月月月五名以上)テロ	-104U4- [1-54]
		2学年以上の巻末 ろ問題にチャレン			心子	首を石井	しく数子		くり組むしわもし
		つ同個ペーノヤレン	ン」を取止しい	v <i>'</i> ⊘₀					
	(2)	構成・配列吸び	量、使用上の便	宜等					
	, ,	児童の発達段階		·	の各単	元はが	る配列	分量の工夫	

- ・1学年の入門期は書き込み式の中綴じA4判となっており、紙面がフラットに開くため、数字を書いたり数図ブロックを操作したりしやすくしている。
 - ・スパイラルに学習することを重視し、習熟・定着が求められる内容の指導の学期を分けたり、同一領域の内容が連続したりしないようにしている。
- ② 目次、見出し、写真、絵、図表の構成などの工夫
- ・単元の前半は補助発問などを丁寧に設定し、後半こかけてはさらに資質・能力が高められるように補助 発問等を段階的に減少させている。単元の途中にも学習に個を考えるような構成になっている。
- ・図を動的に表現したQRコンテンツ動画を活用して、筆算の仕方で割合の意味を理解することができるようにしている。

教科【算数】種目【算数

]

1 研究委員氏名

<u> </u>	発号 4 発行者の略称 大日本												
発行者の番													
学年別(-		年		年	3	•	4		5 年	_	年	
教科書番·			• 115	21	.4	31	4	41	4	514	614		
観	1	数量や ・巻末補 ・単元末 にも取	説問題「プロンストリンストリンストリンストリンストリンストリンストリンストリンストリンストリ	て基礎 プラス・ワ かめ問題 ができる	フン」を 動 のペ るように	全単元に	わたって ナられて	設定している。QF	/る。 (コンテ	らための工夫 ンツを活用して 「チャレンジ! _」		. —	
点別		 ② 日常の事象を数理的に捉え、見通しを持ち、筋道を立てて考え表現する能力を育てるための工夫・考え方に焦点をあてたまとめ「発見!考え方」や「ひらめきアイテム」を設定し、見方・考え方をかせながら学習を進めることができるようにしている。 ・重点となる時間を「じっくり深く学び合おう」と位置づけ、そこでは多様な解決方法を比較続けし話し合う活動などが例示されている。また、シミュレーションのデジタルコンテンツを活用して表別に試行錯誤しながら考えることができるようにしている。 ③ 習得した知識・技能を日常生活や学習の様々な場面で活用するための工夫 											
の特		3学年数を生と関す	以上にある かして生活 る動画も初) 「ふくろ している 聴できる	ろう先生 る人のイ るように	のなるほ。 ンタビュー している。	と算数教 一を取り	室」では、 上げてい	. 算数が る。また	DI夫 社会で生かさ こ、QR コンテニ	ンツから、それ	hò	
徴	_	児童の		喚起し、	補充的	な学習や変	発展的な	学習、家	庭での自	目主的な学習を らんだことを生			
		「チャ ように ・QRコ	・レンジ 係 している。	展学習月 設け、網	用デジタ <i>。</i> ぬり返し国	ルコンテン 気り組むご	ンツ) 」	を設け、付きる。単元	画 ぶ で 未 の へ の 未 ご 未 の へ	た指導や自己	評価ご活用で	きる	
	1	児童の ・入学初 置く活	期の学習が 動がしやす 定などにも	合った。 容はA4	習を展 4判の薄 ら込みを	開するため ソ分冊に対するマスタ	なってお も大きい	り、フラ	ットに閉	*分量の工夫 引くことができ いこなすことが			
		2学年学習の自分の	つながりか	引冊とし 分かるよ ため、角	_ており、 にうに、 糸 砕 方法	既習事 低面を内容 が見えない	頂のふり 努りに色 ように	分けした! 右ページ	りインテ	こうにしている。 ドックスを記載 Jの問題が始ま	したりしてい	-	

教 科【 算数 】種 目【 算数

1 研究委員氏名

2 報告

2 報告						<u></u>	
発行者の習	枵	1 1	発行者(の略称	学図		
学年別	の	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
教科書番	号	116 • 117	216 • 217	316 • 317	416 • 417	516 · 517	616 · 617
観		・特に児童が間違	いて基礎的・基 るようになった。 活用的な問題 えやすい 内容やさ けるべき注意点	こと」では、 ご取り組むこ。 苦手な内容は を示すことで、	その単元の基礎的 さができるように 「算数パトロール	・基本的な内容をしている。	、「まなびを」
点		日常の事象を数 夫 ・多様な考え方を	列示したり、ブロ	コックや図、浸	長、言葉を使った	別などの活動を	
別		「考え方モンス」ようにしている。	ター」というキー また、下巻巻	ャラクターに。 末でその学年	で見つけた見方・き		ページを、上
の		を登録しる則子	干 (兄) オアに兄」	ク・与え刀を[貝曳ことによとめん	とく一ンを放在し	(v 'S
特		習得した知識・ ・「算数をつかっ できるようにし ・単元全体を振り 連続生が感じら	て」のページを特 ている。 反ることによっ	報し、SDG て生じる新たり	sを基本にしたさる	きざまな課題に取	
	4	児童の学習意欲 工夫 ・単元で学習した ページを設けて ・巻末こ「ほじゅ る。	内容を統合的・	発展的に見直	し、学びを深める	「ふりかえろうつ	なげよう」の
	1)構成・配列及び 児童の発達段階 ・国語科との関連 ・6学年では、小 にし、中学校で	に合った学習を を考慮し、1学 学校で学びを「!	展開するため 年の入門期は 見方・考え方」	文字を使わずに活	動するページを設	けている。
		目次、見出し、 ・単元導入では、 の中から問題を となっている。 ・目次や単元名が	イラストや写真、 発見し、単元末	「?をはつ/ 「?をかいけ~	けん」 などキャラ	クターとともに身 活的に学習を進め	

教科【算数】種目【算数

1 研究委員氏名

- 報日 発行者の番	号	1 7	発行者の	の略称		教出				
学年別(の	1 年	2 年	3 4	ŧ	4	年	5 年	6	年
教科書番·	号	118	218 · 219	318 • 3	19	418 •	419	518	618	8
観	1	内容の特徴・表数量や図形についる。巻末の「学びかっことができる工き・課題が見られるいうにしている。	いて基礎的・基 マップ」に既習 失がされている。	事動系統 また、つ	的にま まずき	とめられ	1、学年 1図技能	を超えて既習事が動画で説明され	頁を振り れている。	ю
点		日常の事象を数 夫 ・単元導入の「き・ 的意識をもって	, , -	ジで、子ど	もの身	近な経		,		
別		子どもの「はて、 進められる工夫	=	ど!」「だ	ったら	o!?」 a	という問	いの連続こより	数学的活	動を
の 特	3	習得した知識・ ・単元ごとの活用 算数を使って日 かって考えよう	問題として「学 常の問題を解決 」を設けて、算	んだことを したりする 数の学習と	使お よう! 日常®)」を設 設定し り場面を	け、身の ている。 つなげて)周りから算数を また、学年末に ひる。	は「算数	なつ
15		・数学的な見方・ラス」を設定し		し、活用で	きる。	こうに □	つたかそ)ミカタ」 「つな	かるミカ	カタブ
徴		児童の学習意欲 工夫 ・2学年以上の巻 習熟度に応じて活 ・4学年以降の巻 掲載している。	たの練習問題「! 東習問題の量を記	ステップア 調節できる	ップ質 ように	数」は、 している	難易度 る。	別に2段階に分	かれてお	らり、
	` ′	横成・配列及び 児童の発達段階 ・1学年の入門期 えるようにして ・系統性や習熟の	に合った学習を は、就学前の体 いる。	展開するた験や生活科	等との	関連を	図り、フ	くタートカリキュ	ラムとし	
		目次、見出し、 ・1学年と5・6 ・巻頭ご算数で使 身近な題材から している。	学年は、年間1· たい児方・考	冊で構成さ え方を示し	れて\ た「舅	る。 数のミカ	_	=		

科【 算数 】種 目【算数

1 研究委員氏名

2 報告									
発行者の番		6 1	発行者(の略称		啓林館	自		
学年別(の	1 年	2 年	3	年	4	年	5 年	6 年
教科書番·	号	120 • 121	220 • 221	320 •	321	420 •	421	520	620
	1) 内容の特徴・表明 数量や図形につい ・各単元、既習事項 の単元にレディネ したりすることが	で基礎的・基本 で身のまわりの スチェックの Q できるようにし	事柄から新 R コンテン ている。	ん 学	習に入っ	ていける が個こた	ようになってv だてヒントを見	たり解答を確認
観		・反復による定着がに「復習」が設定	され、年間を通	して基礎・	基本の	定着が図	れるよう	に配慮されてい	්රි.
点	_	日常の事象を数理 ・「とびらのページ が数学的な見方・な構成となってい	」「じゅんび」 考え方を働かせ、	(既習事項	の定着	を図ると	ともに、	学んだことを躍	まえて児童自ら
別		図や表を使って考 びの活性化と思考	力や表現力の育	成を図れる	ように	している。	0		対て協働的な学
Ø		習得した知識・技 ・ 2学年以上にプロミング」を設定し ・ 「わくわくSDGs	グラミング的思 ている。	考を育むと	ともに	、算数の	理解を深	めるための「お	
特	4	り扱っている。 児童の学習意欲を	喚起し、補充的	な学習や発	展的。	学習、家	庭での自	主的な学習を仮	すための工夫
徴		・ヒント・答えが確解的のコンテンツ・巻末「学びのサオできる。「もっとじて選択して学習	などを用意し、! 一ト」に教材が 練習」で基本の	児童の習熟 用意されて 補充問題と	度に いる。 :少しレ	じて個別 「じゅん ベシレの高	に学びを び」でレ	進められるよう ディネスチェッ	にしている。 ・クを行うことが
	1	構成・配列吸びが 児童の発達段階は ・1 学年の入門期に ようにしている。 ・学びのつながりを	合った学習を展 は、A4判・中総 重視した、スパ	開するため	删こな 誠こな	っており、	書き込。 類以内	みやブロックの 容を複数の単元	に分け、習熟の
		時間が確保できる うにしたりしてい 目次、見出し、写 ・巻頭「算数でつかり返ることができ ・学習端末を活用し	る。 真、絵 図表の いたい考えのす るようにしてい	構 <i>対</i> などの すめかた」 る。	江夫では、「	前学年で	学んだ数	学がよ見方・考え	え方を整理し、振
		・字管端末を活用しる。	がり、対話に	よる徐く字		が一般固な	字(D)》(C)	さるよりに単元	の神みとれてく

教 科【 算数 】種 目【 算数

1 研究委員氏名

2 報告

4 報古										
発行者の番	号	1 1 6	発行者(の略称		日文				
学年別(の	1 年	2 年	3 :	年	4	年	5 年	6	年
教科書番·	号	122 • 123	222 • 223	322 • 3	323	422 •	423	522	622	2
観	1	内容の特徴・表明 数量や図形につい ・単元前には「次の て、大切な学習が ・単元末に「まちか 実に定着するよう	て基礎的・基本 学習のために」、 密は繰り返し復 いやれ 問題	、単元末に 習できるよ	は 「学 うに構	習をたし 式されて	がこ」、 いる。	学期ごとの「		
点		日常の事象を数理 ・「自分で みんた。 通しを持てるよ ・「めあて」の近く	で」では、問題 うに配置し、主体 には、見通しを	解決型の学 的な学び 立てたり、	習過程)実現を 筋道を	を 「めあ :目指して 立てて考	て」から ひる。 えたりす	っ「まとめ」へ	と学習の流	の見き
別 の	_	方」として配置 している。 習得した知識・打 ・学習したことをF	能を日常生活や	学習の様々	な場面	で活用す	るための	江夫		うに
特	4	・プログラミング的児童の学習意欲を・2学年以降の巻末	思考を養うため 喚起し、補充的	に全学年に な学習や発	「レッ 展的 な	ツ プロ 学習、家	グラミン 庭での自	グ」を設定し	ている。 促すためのI	
徴		・2子中が取りを水 ク」、応用的・発 スを設けている。 ・QRコートから、 になっている。 拐	展的問題の「数書で学習した	ぐっとチャ	レンジ :同じ	」、探究 型の計算に	的温暖	の「もっとジ VJこ取り組むこ	ャンプ」の3 ことができる。	3ユー
	1	構成・配列及びが 児童の発達契略が ・入学直後に使用す している。 ・高学年では、小・ つけ、スパイラル	合った学習を展 る分冊は中綴じ 中学校間の円滑	開するため でフラット な接続を目	は開く	ため、書	き込みや	ブロック操作		
		目次、見出し、写 ・目次の単元番号や ・1学年の分冊には を学習する前でも	児開きページの デジタルコンテ	右上部分にンツもあり、	記載さ 、絵本	の朗読と	スライト	ショーで見ら	れるように、	文字

ついているので、学習ページをすぐに探すことができるようにしている。

教 科【理科】種 目【理科】

1 研究委員氏名

2																
	発行者の番	号		2	多	そ行者 (の略称		東	書						
	学年別(カ	1	年	2	年	3	年	4	. :	年	5	年		6	年
	教科書番·	号					3	0 7	4	0	7	5	0 7		6 0	7
		(1)内容	ドの特徴	・表現											
		(1)理科の	見方・	考え方	を働か	せなか	ら、児	童が	見迫	重しを	もつ、	て観察	· 実	験な	えど
			を行い	問題解	決の力	を養う	ための	工夫								
			• 学	習の流れ	れを線	で結ん	だもの	を「学	びのう	ライ	`ン」	として	て全単語	元で	示し	、問
			題	解決の流	流れを	分かり	やすく	表して	いる。							
	観		· 導	入や予想	想の場	面では	、児童	の対話	や予想	想を	意識	した多	発言例:	を多	く示	すこ
			と	で、「!	里科の	見方・	考え方	」を働	かせ、	て学	営習で	きる。	ように	してい	いる	0 0
		2)児童の	知的好-	奇心を	高め、	学んた	知識と	実生	活^	へのつ	なが	りを実	感で	きる	5た
	点		めのエ	夫												
			· 各	単元の資	算入で	は、児	童が不	思議に	思った	とり	、興	味を	もった	りで	きる	よう
			な	大判で	美しい	写真や	イラス	トが用	いられ	h.	知的	好奇。	心を高	める	工夫	きがな
	別		さ	れている	5.											
				単元末に									-			
		3		かな学習						-		. – –				
	の			画や写真									_ ,	. –	•	
				ミュレー		ンなど	のコン	テンツ	で児童	童か	ぎ 主体	的に含	学ぶこ	とが、	でき	るよ
				にしてい	- 0											
	特	4		実験な												
				全への						ん」	マー	クを~	つけた	り、こ	文字	どの色
	Ad-r			変えたり					-							
	徴			学年の				元のつ	ながり	りを	:示し	、自然	然環境	<u>〜</u> の	配慮	を意
			韷	できる。	ように	してい	る。									

- 識できるようにしている。
- (2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等
- ①内容構成の系統性と問題解決の能力を育てるための単元配列の工夫
 - ・ 年間で10時間程度の余裕をもてるよう、単元配列や観察・実験の方法な どを工夫し、体験活動や発展的・補充的な学習の時間を確保できるように している。
- ②見出しや写真・イラストのレイアウトの工夫
 - ・ 問題解決のステップを大きく横に一段組みにし、問題解決の区切りを分か りやすく表している。

教 科【理科】種 目【理科】

1 研究委員氏名

2 報告													
発行者の習	野号		4	多	そ行者 の	の略称		大日	本				
学年別	の	1	年	2	年	3	年	4	年	5	年	6	年
教科書番	号					3 0	8	4	0 8	5	0 8	6	0 8
	(1) 内邻	容の特徴	・表現	見								
	1)理科の	見方・	考え方	を働か	せなが	ら、児	童が見	見通しを	さって	て観察・	実験	など
		を行い	問題解	央の力	を養う	ための	工夫						
		• [¥	里科の学	び方」	に沿っ	って、全	単元 🖰	学びの注	流れが棒	構成さ	れてお	り、児	量が
		見記	通しをも	って賞	全習でき	きるよう	工夫さ	されてい	いる。				
観		• 問是	夏解決の	過程0)「問題	夏を見つ	ける」	「考	察」の際	祭の手	助けと	なる内	容を
		示し	_{した} 「コ	コに注	注目」カ	3各単元	に設り	けられて	ており、	教科	書を使っ	って問	題解
	決学習を進めることができる。												
点	2)児童の	知的好	奇心を	高め、	学んだ	知識と	実生活	らへのつ	つながり)を実愿	なでき	るた
		めのエ											
			斗「りか			-			-	-			
別			とを自然			や日常	生活に	こつなり	げて考え	えるこ	とで児i	童の知	1的好
			ふを高め		- 0	77 x x 47),, 	a			
	(3		な学習		,					, –	_		
の			こる活動		, , ,			•					
			♪を行っ ドーン・	•				内谷を1	敗ったり	りして	、埋科	~(/) 興	果を
#±	a		ずていく 安殿か				-	- 01.17	このミココ	÷	L-		
特	(4		実験な èに実験			_						t- 10 1	ブ目
			Eに夫際 よくして	_ , . ,	工で	ノ 仕思を	、又一	子(7)巴,	と変えり	こり作	で囲つが	にりし	, C 兄
徴		• ,) G s ·		とど毛ん	ともケチュョョ	見百八字 も	#남1 ·	を記述す	が 夕粉	田舎々	h てい	、ス
拟	(2		JG s · c · 配列							アタ妖	円息で4	10 C V	.⊘°
	,	,,	成の系				•		・めの単	1 元 邢 万	加の工ま	=	
	(4)		kの「C					_	·				った
		_	で上学		_					·	√ 1 =		/ _
			· ·	, ,,,,		J		_ ,, _ ,	. 40				

②見出しや写真・イラストのレイアウトの工夫

ルコンテンツとの融合が図られている。

・学習の流れがつかみやすいようページ左側に「見つけよう」「調べよう」

・二次元コードが基本的にページ下部の同じ位置に配置されており、デジタ

「伝えよう」で色分けしたラインが引いてあり、分かりやすい。

教 科【理科】種 目【 理科 】

1 研究委員氏名

3	年
6 0	9
験な	こど
が具	具体
構反	戈に
きる	うた
生活	きや
•	•
いて	て解
) — Y-	~ III
ľΔĬ	5用
ふ? F	1 \
/J * E	1 1/4
掲載	おさ
1014	~ _
なっ	って
J	-
	6 験 が構 き 生 工紹点い に が 掲 掲 5 長 長 7 下 青 青

・ 裏表紙に一覧で掲載された目次に、SDG sの項目が関連付けされており

科学的な視点で考えられるようになっている。

教 科【理科】種 目【理科】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	1 7	発行者(の略称	教出		
学年別の	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
教科書番号			3 1 0	4 1 0	5 1 0	6 1 0
(1)内容の特徴	・表現				

- ①理科の見方・考え方を働かせながら、児童が見通しをもって観察・実験など を行い、問題解決の力を養うための工夫
 - ・ 各学年の巻頭に「自分たちの考えを伝え合い、学び合おう」と「学習の進め方」が設けられ、問題解決学習の流れを意識し、見通しをもって学習に取り組めるように配慮されている。
- ②児童の知的好奇心を高め、学んだ知識と実生活へのつながりを実感できるための工夫
 - ・ 各単元の導入では、身近な自然現象を取り上げ、実生活と重ね合わせなが ら考えたくなるような場面が大きな写真とともに設けられている。
 - ・ 単元末の「たしかめよう」では、実生活における学習内容と関連のある内容が掲載されている。QRコードで動画視聴ができる設定になっている場面もあり、理科の学習への興味関心を高められるように工夫されている。
- ③補充的な学習や発展的な学習が行え、主体的な学習が促されるための工夫
 - ・ 「科学のまど」「資料」「チャレンジ」「ふりかえろう」には、単元を通 して学習したことが整理されている。学習前と学習後の自分の考えを振り 返ることができるように工夫されている。
- ④観察・実験などの安全と環境への配慮についての記述の工夫
 - ・ 危険を伴う活動は同じ内容でも関係のあるページで表示している。 裏表紙 には、各学年の学習内容に応じた「理科の安全の手引き」が掲載されており、必要事項をすぐに確認しやすい仕組みになっている。
 - ・各単元における自然事象のトピックには、SDGsのマークが掲載されており、学習内容をSDGsの観点からも考えることができるように工夫されている。
- (2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等
- ①内容構成の系統性と問題解決の能力を育てるための単元配列の工夫
 - ・各単元の見出しのページに「学習のつながり」を示している。また、学習内 容によっては中学校の学習とのつながりも示され、幅広く系統性を意識でき るように工夫されている。
- ② 見出しや写真、イラスト、レイアウトの工夫
 - ・ 登場する教師や児童の吹き出しが多く、親しみやすく感じられる工夫がされている。特に大切な内容には赤色でカギのマークと網かけがしてある。

観

点

別

の

特

教科【理科】種目【理科】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番	号	6 1	発行者	啓林館								
学年別(の	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年					
教科書番	号			3 1 2	4 1 2	5 1 2	6 1 2					
	(1)内容の特徴	・表現									
	1	理科の見方・	考え方を働た	いせながら、児	童が見通しを	もって観察・	実験など					
		を行い、問題	解決の力を着	養 うための工夫	:							
		・ 巻頭に「理	科の楽しみ	方」が設けられ	1、問題発見7	から問題解決	までの流れ					
		が明示され	ており、見	通しをもって	学習に取り組み	めるようにな ・	っている。					
観		・ 問題解決の	場面では、	「理科の見方	・考え方」がワ	欠き出しに示	され、ポイ					
		ントとなる	言葉に緑色	のマーカーが引	川かれている。							
	2	児童の知的好	奇心を高め、	学んだ知識と	実生活へのつ	ながりを実愿	なできるた					
点		めの工夫										
		・理科を学ぶ	意義や有用	性を実感できる	るように単元に	内の「理科ので	ひろば」や					
		単元末の「	くらしとリ	ンク」で多様な	は題材を掲載し	している。						
別		・ 巻末には「	オッターの	資料室」が設け	けられ、理科の	の見方・考え	方が役立つ					
		場面を漫画	iやイラスト	で表している。								
	3	補充的な学習	や発展的な学	習が行え、主	体的な学習が	促されるため	の工夫					
の		・「スマート	解説」では、	QRコードを	:読み取ること	で、基本のデ	チェック問					
		題や解説動	」画を視聴で	き、理解度に合	合わせて主体的	りに学習を進め	かられる工					
		夫が見られ	る。									
特	4	観察、実験な	どの安全と環	境への配慮に	ついての記述	の工夫						
		けがや火傷	の注意喚起	だけではなく、	換気や保護	艮鏡などの注意	意を促すマ					
		ークを設定	し、危険の	種類を把握でき	きるようになっ	っている。						
徴	(2	2) 構成・配列	及び分量、値	吏用上の便宜等	•							
	1)内容構成の系	統性と問題的	解決の能力を育	てるための単	色元配列の工力	ŧ					
		• 学習指導要	領に示され	た内容の系統性	生をふまえて、	学年内・学	年間の既習					
		内容を意識	しながら学	習できるように	こ単元の構成	・配列を工夫	している。					
	2	見出しや写真	、イラスト、	レイアウトの	工夫							
		・ 実験手順と	結果が別ペ	ージとなってお	り、教科書を	使って問題解	※決学習を進					
	i	خخاف مساور		- 1 1 1 1								

めることができるレイアウトになっている。

教科【生活】種目【生活】

1 研究委員氏名

2 報告

2 報告								_			
発行者の	番号	2	発行者の	略称		東書					
学年別	の	1 年	2 年	3	年	4	年	5	年	6	年
教科書番	号	1 1 7	1 1 8								
	(1)	内容の特徴・表	現								
	1) [自分自身、身近な	く人々、社会及び	び自然の	特徴や	よさ、そ	これらの	関わり	等に気付	けくと。	とも
	6	こ、生活上必要な	:習慣や技能を身	身に付け	るため	の工夫					
		「いきものずかん	/」「おもちゃっ	げかん 」	では、	世話の仕	上方や作	り方、	調べ方か	バイラン	スト
	5	と言葉で説明され	、活動に必要な	な技能が	身に付	けられる	るように	してい	る。		
観	•]	上巻には、ICT機	器を用いた観察	図の仕方	や調べた	方が具体	的に紹	介してる	あり、活	用の仕	上方が
	5	分かりやすい。									
	24	身近な人々、社会	及び自然を自分	分との関	わりで	捉え、自	自分自身	や自分	の生活に	こつい	て考
点	7	え、表現するため	の工夫								
	• 村	直物を育てる単元	こでは、複数の植	直物の種	、葉、	花の様子	子の写真	を比較	しやすい	いように	こ、
	书	是示し、多様な気	「付きを促すよう	うにして	いる。						
別	• 崖	単元の終末や巻末	€の「かつどう~	べんりて	ちょう.	」では、	学びを	伝える	多様な表	長現方法	去や
		具体的な活動例が								-	
		身近な人々、社会				や自信	をもって	て学んだ	ごり、生活	舌を豊	かに
Ø		したりしようとす									
		単元扉には、児童		つぶや	き、作品	品例等を	見開き、	で掲載し	/、活動	の見通	しが
		特てるようになっ - 5 な) I -b- >) (1)
特	•	「やってみよう!		_					ており、	古動	を継
	(-)	続したり活動の				かけに	なってレ	いる。			
	/	構成・配列及び	<u> </u>			44) - YT F		1-27	1. > .6. 12	∡ — т#; -	4-0
徴		地域や学校、児童 エオ	1の美態に応じて	(糸統的	• 発展	的に活動	刃沙展開	「でさる	よりな具	三兀愽	戊 <i>()</i>
		工夫	この夕野 しょケル	トの光さん	0 / T	4 A 237	ド 1、子. 日日	いまてが	ファムキュリ	11 28	+ 10
		呆育所、幼稚園で 学びの連続な音楽			、2年	生の子し	かと を 医]連竹り	る吹さ口	3 U D) 1	めり
		学びの連続を意識 「つながる ひろ		_	仙粉彩	レの問題	まぬった	生の学	羽へのく	つ <i>ナ</i> るよう!	n た
	-		_					・生の子	百八八	ンなか	りを
	⊘ ¬	マークや吹き口 文字の大きさ、書	出しで示していて は休め事記などの		U 9	/ なつ (てい。				
		文子の八ささ、音 全単元を通して、			音重項	がペーミ	シの トゴ	に掲載	されてい	ヽス	
	-	エデルで畑レく、	丁日旧助(7天)	ーレ:: \ Iエ	心爭识	// · · · ·	・マノエーロ・	八一门印取		·00	, ,

・ユニバーサルデザインを意識したイラストや書体が用いられていて、見やすい紙面とな

っている。

教 科【 生活 】種 目【 生活

1 研究委員氏名

- +x ロ 発行者の	番号	4	発行者の	の略称		大日本	z –				
学年別	の	1 年	2 年	3	年	4	年	5	年	6	年
教科書番	号	1 1 9	1 2 0								
	(1)	内容の特徴	· 表現								
	1	自分自身、身i	丘な人々、社会	会及び自	然の特	持徴や。	はさ、	それらの	り関わ	り等に	気付
	< -	とともに、生活	舌上必要な習慣	貫や技能	を身に	こ付ける	るための	の工夫			
	• 1	観察の視点や」	比較する視点を	と具体的	りに紹介	としてい	る「カ	がくしゅ	ゅうど	うぐば、	_]
	7	が単元の必要を	な箇所に配置る	されてい	いる。						
観	•	「あきみつけ」	ごンゴ」「雨の	り日のす	てきに	はっけん	しビン	ゴ」でハ	は、観響	察、発見	見を
	_	する際の視点を	が示されている	5.							
	2	身近な人々、社	社会及び自然を	を自分と	:の関ネ	つりで打	足え、日	自分自身	争や自然	分の生活	舌に
点			表現するための								
			ク」等書き込み	_	る箇所	折が多く	く設定で	されてい	いて、	自分の月	思い
			しやすくなって	_							
別			絵日記、観察					多く挙げ	ずられ ゛	ており、	自
	_		った表現方法を				-	- , ,	- 334		
			土会及び自然に					言をもっ	って学ん	しだり !	主活
の			しようとする館					4 1.0)). A	<i>l</i> . =
		·	ノクロ写真が見					-			
			くなる仕掛けと	なって	(\ ² (,	李郎(/)	特徴に	.興味を	もつこ	とにつ	なか
特		る。 ヴィドナ・安生江	ガムナルン	75. T	, 二 <i>万</i>	h. 0	ر ا الحداد	1 アギ	出そか	ナハト	10
	• =		こ活かすヒント Dページで紹介	•			百割と	しく衣	呪され	(11/2	り、
	(2)	<u>-</u>	及び分量、使用			9 D ₀					
徴			又Oの重、区グ 見童の実態に応			·	句に 活電	針が屈馬	目でもこ	ストうに	と用
	_	元場、テス、) 元構成の工夫			7/19614 7	JUIKH	710103	9777 1	11 6 6 .	J & J,	х Т
			とば」の欄では	t. 色σ)名前(の言葉の	き雨の『	条り方を	シ表す	言葉等	が紹
			国語科との関							>1 C - Q	7 71
			-ジは、子ども					-	ってみ	たいと	思え
			5目線の写真に								
	2	文字の大きさ、	書体や表記な	どのエ	夫						
	• 1	青報が整理して	て載せてあるシ	ンプル	な画面	構成で	、読み	やすく	してい	る。	
	• 2	季節に沿った力	て単元構成にな	つてお	り、季	節ごと	に見出	しの色	を変え	ている	0

教 科【 生活 】種 目【生活

1 研究委員氏名

2 報 告								-			
発行者の番	号	1 1	発行者(の略称		学図					
学年別(の	1 年	2 年	3	年	4	年	5	年	6	年
教科書番·	号	1 2 1	1 2 2								
	(1)内容の特徴	 ・表現	_						_	_
	1	自分自身、身	近な人々、社	:会及び	自然の	特徴や	よさ、	それらの	の関わり	等に気	付く
		とともに、生活	舌上必要な習	慣や技	能を身	に付け	るため	の工夫			
		「ものしり図	かん」「もの	しりの	うと」	では、	虫や植	物の名詞	前や遊び	汚など	の学
観		習を進める上	でヒントとな	る知識	や技能	、表現	の仕方	や学びた	方などが	示され	てい
		る。									
	•	生き物の成長	していく過程	が、写	真や絵	で分か	りやす	く紹介さ	されてい	る。	
点	2	身近な人々、	生会及び自然	を自分	との関	わりで	捉え、	自分自身	身や自分	の生活	につ
		いて考え、表	見するための	工夫							
		活動を「計画-	→実行→振り	返り→ⅰ	改善」	などの	ステッ	プアップ	プ方式で	の展開	とす
別		ることで、児童	童自身が自ら	課題を	見付け	て、解	決して	いくこ	とができ	る。	
		巻末の「まな	びかたずかん	」では	、学ぶ	力をつ	けるたと	め、活動	めのヒン	トとなる	るよう
		な学び方や表	現の仕方など	が示さ	れてい	る。					
の	3	身近な人々、神	土会及び自然	に自ら値	動きか	け、意象	次や自信	言をもっ	て学んだ	ごり生活	らを豊
		かにしたりし。	ようとする態	度を養う	うため	の工夫					
特		・「もっと〇〇	」のコーナー	-が単元	の終わ	りに位	置付け	られてお	3り、学	習をさ	らに広
าจ		げることがで	きる。								
	(2	と) 構成・配列	及び分量、使	用上の	便宜等	<u>.</u>					
徴	<u> (1</u>)地域や学校、	児童の実態に	応じて	、系統	的・発	展的に	活動が原	展開でき	るよう	な単
F 67		元構成の工夫									
	•	上巻の初めに	は、スタート	カリキ	ュラム	のペー	ジがあ	り、これ	れから始	注る学	校生
		活や学習への	見通しや意欲	をもつ	ことが	できる	0				

- ・上巻から下巻にかけて、学校から町へなど、活動の範囲やかかわりが広がるよう に構成されている。
- ②文字の大きさ、書体や表記などの工夫
- ・飼育・栽培・自然・遊び・成長の単元で構成され目次を見ると学習の時期が分か
- ・表紙から裏表紙にかけて書かれたイラストや写真で、1年間の活動を見通すこと ができるようになっている。

教 科【 生活 】種 目【 生活 】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	1 7	発行者の	の略称		教出		
学年別の	1 年	2 年	3 年	E	4 年	5 年	6 年
教科書番号	1 2 3	1 2 4					

(1) 内容の特徴・表現

①自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付く とともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるための工夫

・「やくそく」や「ヒント」、巻末の「学びのポケット」には必要な習慣や技能、 学び方が具体的に紹介されている。

観

- ・単元の終末に「野さいのそだて方」「生きもののそだて方」等が載っており、生活の中で生かせる知識や技能を習得できるようにしている。
- ②身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現するための工夫

点

・「はっけんまとめいろ」「かんがえまとめいろ」により、考えを深める視点を与 え活動がより広がるきっかけを作っている。

・ICT機器活用の場面が、イラストや写真で具体的に紹介してあり、思考を深める 場面、表現する場面で、自分の思いや内容に応じて生かせるようにしてある。

③身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を 豊かにしたりしようとする態度を養うための工夫

の

別

- ・学習の動機づけ、主体的な活動につなげる「わくわくスイッチ」が設けられている。
- ・単元の終末では、自己評価をする欄や発想を広げられるような (「もしも」の) ページが設けられている。

特

- (2) 構成・配列及び分量、使用上の便官等
- ①地域や学校、児童の実態に応じて系統的・発展的に活動が展開されるような単元構成 の工夫

- ・どの単元も、導入「わくわくスケッチ」で動機付け、「はっけんロード」と「は てな」で、自ら活動を組み立て、「ぐんぐんはしご」で振り返って、自分の成長 を自覚することができるような構成になっている。
- ・他教科の見方・考え方との関連を示し、活動する際に意識しやすくしている。
- ②文字の大きさ、書体や表記などの工夫
- ・各ページの左上部に、各単元で特に児童に育成したい力がサイコロ型で示されている。
- ・見開きの右端に、「ヒント」、「やくそく」などの大切な情報が掲載されていて、 同じような紙面構成になっている。

教 科【 生活 】種 目【 生活

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	3 8	発行者(の略称	光村		
学年別の	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
教科書番号	1 2 7	1 2 8				

(1) 内容の特徴・表現

①自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付く とともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるための工夫

観

・巻末の「ひろがるせいかつじてん」では、学習を進める上で必要な知識や技能、活 動のヒントとなるような遊び方や表現の仕方などが別冊として活用できるようにな っている。

点

・児童の健康や安全に関わる「気をつけよう」のコーナーにはQRコードがあり、画像 や動画による解説が見られるようになっている。

②身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活につ いて考え、表現するための工夫

別

- 「こんなのもいいかもよ」「こんなこともあるかもね」など、考えを広げたり、 経験と結びつけて考えたりすることができるようになっている。
- ・吹き出しや「学び方のヒント」に考え方や伝え方の手がかりが掲載されている。

の

・学習活動の終わりには、「ふりかえろう」のコーナーが設定されており、活動中 の出来事を思考・判断・表現の観点で振り返ることができるようになっている。

特

③身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊 かにしたりしようとする態度を養うための工夫

単元末にある「たのしいまい日につなげよう」「もっとやってみよう」では、生活

徴

・保護者の協力を仰ぎたい内容や家庭での声掛けのヒントなどが「保護者の皆様へ」 として随所に載っている。

につなげたり活動を広げたりするためのヒントが紹介されている。

- (2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等
- ①地域や学校、児童の実態に応じて、系統的・発展的に活動が展開できるような単 元構成の工夫
- ・交通安全や記録の取り方、発表の仕方などは、他教科でも活用できるように、別 冊にまとめられている。
- ②文字の大きさ、書体や表記などの工夫
- ・季節ごとの動植物を集めたカードは、汚れにくい加工になっており、アクティブ な野外活動でも使えるようになっている。
- ・絵本作家のヨシタケシンスケの絵と言葉が載っている。

教 科【 生活 】種 目【 生活 】

1 研究委員氏名

2 報告

<u> </u>								_			
発行者の	番号	6 1	発行者の	略称		啓林館					
学年別	9	1 年	2 年	3	年	4	年	5	年	6	年
教科書番	号	1 2 9	1 3 0								
	(1)内容の特徴	• 表現								
	1	自分自身、身边	近な人々、社会	及び自	然の特征	数やよ	さ、それ	1らの[関わり等	等に気	付
		くとともに、生	生活上必要な習	慣や技	能を身	に付け	るための	の工夫			
		「こんなときる	どうしよう」や	「学び	のヒン	ト」な	どで、	基本的	な生活習	習慣や	生

観

活技能、健康や安全に関する知識が示されている。 ・「生き物図鑑」「調理方法」「防災図鑑」など豊富な資料が、紙面や電子ブッ

点

- ②身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現するための工夫
- ・「見付ける」「比べる」「たとえる」「試す」「見通す」「工夫する」などの 学習活動の例が示されている。

別

・言葉、絵、動作、劇化、ICT活用など、多様な表現活動や交流活動が掲載されている。

の

③身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活 を豊かにしたりしようとする態度を養うための工夫

特

- ・紙面右下に次の活動につながるような「めくり言葉」が設定されている。
- 「できるかなできたかな?」では、自己評価の視点の例が示されている。
- (2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

ク形式で閲覧できるようになっている。

- ①地域や学校、児童の実態に応じて系統的・発展的に活動が展開できるような単元構成の工夫
- ・学びが繰り返し深まるように、「わくわく」(導入)、「いきいき」(主たる 活動)、「ぐんぐん」(振り返り)の3段階で各単元が構成されている。
- ・紙面の各所に「他教科マーク」があり学びのつながりを意識しやすくしている
- ②文字の大きさ、書体や表記などの工夫
- ・目次で紹介されている資料の一覧が、内容に応じて色分けされている。
- ・単元の流れに合わせて、見出しの色が決まっている。

教科【音楽】種目【音楽】

1 研究委員氏名

2 報告

2 報告								ı			
発行者の番	号	1 7	発行者(の略称		教出				ı	
学年別(の	1 年	2 年	3	年	4	年	5	年	6	年
教科書番	号	103	203	3 0	3	4 (3	5 0	3	6 0	3
	(1)内容の特徴	・表現								
	1	基礎基本の確	実な定着を図	るための)内容	の工夫	:				
		・「音楽を形	づくっている	要素」を	:「音	楽のも	と」と	してペ	ージキ	主上にえ	芹
		し、教材や	活動に関連す	るものを	見開	きごと	に明記	して、	児童カ	i その値	動き
観		を意識しな	がら学ぶこと	ができる	らよう	配慮さ	れてい	る。			
淮 尤		・ 鍵盤ハーモ	ニカやリコー	ダーの導	算入に	ついて	は、各	8~-	ジが害	りかれ、	細
		やかなステ	ップアップで	扱われて	こいる	ほか、	新出音	も段階	を追っ	って緩や	きか
点		に扱われ、	発達段階に即	した技能	色の定	着に配	慮され	ている	0		
	2	知識技能を活	用し、自ら考	え、判断	fl.	表現す	る力を	育むた	めの内	容の	匚夫
		見開きごと	に学習のねら	いと学び	が方を	示唆す	る「ま	なびナ	ビ」カ	ふっされ	いる
別		とともに、	題材ごとの見	通しも示	きされ	、児童	が見通	iしをも	って主	三体的 は	こ学
		んだり、学	習を深めたり	できるよ	こう配	慮され	ている) ₀			
		・紙面上の二	次元コードを	通じた、	音声	で動画	、写真	ワー	クシー	-トなと	どの
の		デジタルコ	ンテンツ(ま	なびリン	/ク)	の活用	により	、学習	への意	飲を高	与
		め、学びを	活性化し、確	かなもの	つにて	きるよ	う工夫	されて	いる。		
特		・現代の児童	の生活や心情	に即した	教材	を取り	上げた	り、写	真・学	学習に関	月連
11		したWEB上の)資料を効果的	内に用い	たり	して、!	見童の	主体的な	よ学び	を引き	出す
		よう配慮され	れている。ま	た、随所	行に教	科横断	的扱い	ができ	るよう	な教材	才が
徴		配置されて	いる。								
	(2)構成・配列	及び分量、使	用上の個	11年	<u> </u>					
	1)内容を系統的	に構成し、学	:習を効果	見的に	進める	ための	配列や	分量の	工夫	
		・主要部分の	教材と選択可	能なオフ	゚゚ショ	ン部分	の教材	を組み	合わせ	けること	とよ
		り、各学校	の実態やカリ	キュラム	に柔	軟に対	応でき	るよう	に配慮	まされて	てい
		る。									
		・中学校で学	ぶ内容を発展	的に扱っ	た籄	i所では	、マー	-クでそ	の旨か	ぶ示され	て
		いるほか、	高学年で雅楽	や日本の)作曲	家の歌	曲作品	など、	中学核	で学る	が内

容が導入的に扱われている。

教科【音楽】種目【音楽】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の習	号	2 7	発行者	の略称			
学年別(の	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
教科書番	号	1 0 4	2 0 4	3 0 4	4 0 4	5 0 4	6 0 4
	(1)内容の特徴	・表現				
	1	基礎基本の確	実な定着を図	るための内容	の工夫		
		・見通しをも	って学習に取	なり組むことが	できるように	「何を目標に	こ」「どのよ
		うな活動を	通して」「何	「を学ぶのか」	が一目でわか	るように示さ	られている。
		また、児童	が学習のめあ	てをつかみや	すいようなア	イコンも示さ	られている。
観		・新しく学習	する音符や体	、符、記号など	゛が「がくふっ	' スター」とし	て掲載され
			符や休符はな	ぐったり書き	込んだりする	ことができる	らようになっ
		ている。					
点			-	事項]に示され			
				いる。また、巻			_
	6			まり返ることが			_
別	2	知識及び技能	を活用し、 目	り有え、判断	「し、衣現する)力を育むため)の内谷の工
		夫・児童の作品	伽やローカミ	⁄ート例のほか	、 ガル ープ 狂	・動時の今話な	シ相定した 吹
				:、児童が表現			
の				いたいないたり			
		ている。	C E /N/2 (18) 0100102		₹ 231(=>1 · C 4 o
4.4		-	な学び」を進	きめたり 「協働	的な学び」を	深めたりする	らことができ
特		るよう、学	習に役立つ鄂	、唱、器楽教材	のMIDI音源、	音楽づくりや	空鑑賞の学習
		をサポート	する二次元=	ードが示され	ている。		
МН	(2)構成・配列	及び分量、使	見用上の便宜等	÷		
徴	1)内容を系統的	に構成し、学	学習を効果的に	進めるための	配列や分量の)工夫
		・全学年の系	統は題材と教	対の扱いによ	って構成され	、題材ごとに	二、教材、活
		動、程度な	どが柔軟に選	訳できるよう	に弾力的に組	l織されており)、学習指導
		計画の作成	に当たり、各	学校や児童の	実態に対応て	ぎきるよう適切	刀に配慮され
		ている。					
				歌唱、器楽、			
		く配置され	ているため、	さまざまな学	2督を通して楽	をしみながら音	f楽の学習内

容を身に付けることができるようになっている。

教 科【図画工作】種 目【図画工作】

1 研究委員氏名

2 報告

2 報告								_		
発行者の番	号	9	発行者(の略称		開隆堂	Ĺ			
学年別(の	1 年	2 年	3	年	4	年	5 年	6	年
教科書番	号	1 0 5	106	3 0	5	3 (6	5 0 5	5 (0 6
	(1)内容の特徴	・表現							
	1	基礎的・基本的	な知識及び技	能の確実を	な定着	を図るが	きめの]	L夫がなされて	いるこ	と。
	•	学習のめあてが	3観点で示され	れ、学習の	カポイ	ントがと	めあてに	こ対応するキャ	ラクタ	ーで
		示されている。	特に、中心と	なるめあっ	ては下	線で強調	問されて	ている。巻末に	は色や	形な
		どの造形要素、	技法や材料、	用具につい	ハて基	礎基本的	りな事項	質がまとめられ	ている	。ま
観		た、QRコードな				_				
	2	知識及び技能			判断	うする力	を育む	ために内容∅)充実	や創
		意工夫がなさ								
点	•	自らの見方や考								
		な発想の方法を				- 0	,			•
		題材に沿った鑑		上けられ、	図画	工作科(り見万さ	?考え万を広け	る視点	かイ
別	<u> </u>	ラストにより示		♪ 坐 ≿ 1.	1. 4)=	44-4-4	14 2	図みが日本を出	. J.J. 📥	· 🖒 :
	ত্)主体的に学習に の自主的な学習		_ , , ,	_				首、豕	姓で
		各題材に「あわ						-	[SDC 6	. 7 5
の		ム」では、SDG:	· · · -							
		学年になるにつ						MADI C 4 07C 7 C) ⁰ l⊓1
	(2)構成・配列					90			
特		内容が系統的に					りに適り	刃な配列である	こと。	
		年間を通して、	各分野の内容	が配置され	こてい	る。また	こ、関連	直するページを	前後に	配置
AthL		し学んだ資質・	能力や使った	材料などを	を次の	学習に生	生かせる	るようにしてい	る。	
徴	2)全体の分量及で	びその配分や	表記が指	導上:	適切でな	あるこ	と。		
	•	各題材は、見開	き 2 ページで棒	構成されて	おり、	児童の	思いや	工夫したことが	吹き出	しや
		作品下のコメン	トに載せられて	ているとと	もに、	作品の	大きさ	や使った材料も	示され	てい
		る。作品番号が	ついている。							
	3	目次、索引、凡	例、諸表、その)他使用上	:の便1	宜につい	て、よ	く考慮されてい	ること	0
	•	巻頭に学年全体	の学習のめあて	てと表現内	容の	構成を視	覚的に	見渡すことがて	きる目	次が

設定されている。また、巻末に振り返りのページがあり、1年間の学習で培った資質・

能力を確かめることができるようになっている。

教 科【図画工作】種 目【図画工作】

1 研究委員氏名

2 報告

2 報告											
発行者の番	号	1 1 6	発行者(の略称		日文					
学年別(の	1 年	2 年	3 4	Ŧ	4	年	5	年	6	年
教科書番	号	107	108	3 0 '	7	3 0	8 (5 0	7	5 0	8 (
	(1)内容の特徴	・表現								
	1	基礎的・基本的	な知識及び技能	能の確実な	定着	を図るだ	こめのコ	こ夫がな	されてい	いるこ	と。
	•	学習のめあてが3	観点5項目で示	され、特に	重要な	こめあて の	つポイン	トに表現	ヒントや	鑑賞の	ヒン
		トが示されている	。また、巻末に	「材料と用	具のて	きだし」	が設け	られてお	り、材料	や用具	の安
		全な使い方や技法			応じて	「写真や図	☑を使い	分けて示	されてい	いる。題	材ペ
観		ージにも安全指導		- 0							
.,,	(2)	知識及び技能を		考え、判断	iする	力を育む	らために	【内容の	充実や創	創意工	夫が
		なされているこ	•	→ P₹ 1 × 1.	10 IF	1 *		1.99 1.0	~ = L/= A	W=== 1	L 18
点	•	「試してみよう」	- / 1/1 /		. , .		,-	,			
<i>/</i> ////		る工夫がされてい		· · · -							
		られている。また 吹き出しを用いて							衣况坟位	コのヒン	r2
別		吹さ出しを用いて 注体的に学習に							め <i>ナ</i> ≥学ヌ	羽字に	立で
נינ <i>ו</i>	0	全体的に子首に の自主的な学習								日、水川	正し
		「つながる学び」							-	5 身近	に見
•		られる作品の楽し		-		=					
の		れている。巻末に			-						
		に応じた活用例や					. ,,		_		,,,
.1.1.	(2)構成・配列	及び分量、使	用上の便	宜等	:					
特	1	内容が系統的に	構成され、学習	習を効果的	」に進	めるため	かに適り	切な配列:	である。	こと。	
	•	巻頭には、題材	のページの構成	成やマーク	を紹	介した教	数科書0	使い方を	や学習の	の進め	方が
		示されている。	年間を通して、	どの分野	もバ	ランス。	よく配列	引されてい	いる。こ	また、_	上巻
徴		では対話を通し	て豊かな感性を	を育むため	の 「	ともだり	らと作品	品を見て	話そう」	とい	う鑑
		賞方法が紹介さ	れている。下着	巻の巻末に	は振	り返り~	ページを	と設け、	2 学年、	ごとには	音つ
		た資質・能力を	児童が考えるこ	ことができ	るよ	うになっ	っている	5.			
	_)全体の分量及で			•			-			
	•	各題材は、見開						景色で、	過度な	刺激が	抑え
		られており、特					- 0) 	1	 - 1	
	_	目次、索引、凡									-
		目次はどの分野の	活動であるかが	一目で分か	るよう	にアサイ	ンやフ	オントを	L天して	示してい	いる。

目的に応じて活用できるよう、QRコードに分類名がつけられている。

教科【家庭】種目【家庭】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番	号		2	ž	¥行者(の略称		東書	Î				
学年別(の	1	年	2	年	3	年	4	年	5	年	6	年
教科書番	号										5 (3	
	(1)内容	の特徴・	表現									
	1	日常	生活に必	要な基	礎的・	基本的な	知識及	び技能	を習得っ	するため	の工夫	:	
			つも確か		_								
		-	するとと	- •		セットで	で扱うこ	とで、	日常生	活でも生	Eかすこ	ことがて	できる
			に配慮さ 【とイラン		- 0	テレア)							
観			, コード				-	ネットル	て接続し	其磁	技能の	説明動i	画を見
7.		•	ことがで		28 - 0		• / -	1.7.1.		/\ \(\Delta \)	 	100.01391	四七九
			つも確認	_	う」には	は、実寸	写真な。	ど実習る	をするう	えで必	要な資	料を分れ	かりや
点		すぐ	く載せてい	いる。									
7111	2	日常	生活の中	から課	題を設定	定し、考	きえたこ	とを表	現するネ	舌動が充	医実する	ための	工夫
			では「学					提起が	分かり	やすくえ	示され、	見通し	たも
別			学習でき				-	. 10 /	2 .2.	- 1 A	1	. >)2.	2.
נינ <i>ו</i>			の進め方 をトライ										
		る。	セドノ イ	ノート	を用い	(I C Ø	ノ、前し	行りた	.り光衣	したり	ころのも	、グにし	<i>_</i> (<i>(</i> ,
•	(3)	-	や地域の	一員と	して生涯	舌をより	よくし	ようと	する実置	ま的な態	度を養	うため	の工
の		夫											
		「深	めよう」	では、	児童が	自主的に	こ家庭や	地域で	取り組	めるよう	な具体	体例が示	きされ
4+		てい	- 0										
特			活を変え			_							見つけ
			や地域と 国や郷土									-	+
AL.	4)		国で郷工 的な生活							,			
徴			で日本の						-	/]	>1) 1C)		()
	(2	_	• 配列及										
	1	学習	を系統的	・効果	的に進る	めるため	の構成	• 配列	及び分量	量の工夫	÷		
		・大題	材が15で	構成さ	れてい	る。							
	2		· 凡例 ·						까스 코딩 -	\	LEI \	- 1	
			量を充実	•				•					「るた
		•	めあて、 の骨なに										イ学
			の営みに 進められ					「妙窓」	2 U ()	政化し、	怳思を	こ 息 諏し	ノく子
	<u> </u>	日が	~= V) DAI	2007	・一口口心	U (V '6	0						

教科【家庭】種目【家庭】

1 研究委員氏名

発行者の	番号		9	ž	·····································	の略称		開隆望	堂				
学年別	の	1	年	2	年	3	年	4	年	5	年	6	年
教科書番	号										5 0	4	
	(1)	内容の	の特徴・ま	表現				1					
	1	日常	生活に必要	要な基礎	と と と と と と と と と と と と と と と と と と と	本的な知	印識及	び技能を	習得す	るため	の工夫		
		・身に	つけた基準	礎・基準	本をもと	にして	計画的	に工夫し	_、応用	させな	がら生活	舌に生た	いして
		•	力が身に					- 0					
			や製作等のお							やすく	例示され	れている	る。調
観			製作の実 ^注 には、領 ⁵						- 0	世紀の	羽但ない	ሁ <i>ተ</i> ያ 1	トーフ
#/ L		・合木		吸して	こ天 白い	-1又立つ	ンンハ	\	$r \ll y y$	1X肥ツ	白付て	9 41-	, , ,
		_	。 コードを訝	たみ取っ	て、動	画等の資	野料を	見たり操	作した「	りできる	るように	なって	いる。
点		•	上活の中か										
		単元	の導入ペ	ージでに	は、題材	すの写真	だけて	学習内容	タが分か	る工夫	がされ	ており、	児童
		が興	味・関心	をもって	て取り刹	且めるよ	うにな	こっている	5.				
		・自分	自身の生	活の中	から課題	夏を見つ	けるこ	とを出す	発点とし	、わか	り、で	きるよう	うにな
別			につけた			らの生	活に生	こかし深め	かていく	ことが	できる。	よう、:	3つの
			ップで構			F 24		F=#)	A 3. 5	, 15	_ 0002	*** \. 1. #*# \	V === >-
			えよう」		_			_		_			
の		取り る。	入れるこ	とで±1	本的 • X	打話的な	保い字	2016-27%	よけるこ	8 m C	さるよ	クになっ) (/ ·
	(3)	- 0	∵地域の−	-昌レ1	て生活	をより」	くし	ようとす	る実践的	内か能用	ぎを養う	ための	丁夫
	_		したこと										
特			り返ろう.										
	4	我だ	ド国や郷土	この伝統	文化に	ついて理	解を	深め、尊	重する	態度を育	育てるた	めのエ	.夫
	•	日本独	独自の文化	ど先人	の工夫	に気付く	ことが	ができる	よう、信	云統的な	な生活文	化に関	する学
徴			目に「伝統	_		けたり、	「キ・	ャリアイ	ンタビュ	<u></u>	で日本の	伝統文	化を多
	(0)		トしたりし		-	* /F -> /	afia						
			・配列及で					. #1 #1 7		のエナ			
	_		を系統的 オが20で								の組扱う	がしめ	オノエ
			リが 2 0 C している。	· 1円/八 C	AU CAO	ラ、 地場	√ \ 	人尹用守	により	、原介で	ノ/ILL1大人	.13-0-5	7 \上
			と細かく構	「成・配	列し、	スモール	/ステ	ップで学	習が積み	タ上げら	られるよ	うにな	ってい
		る。	,	.,.	•			- 4		-		. 3.	
	2		・凡例・言	普表・し	ノイアウ	トや表記	記等の	工夫					
		生活の	営みに係	る見方	· 考え	方が「匹]つ葉(のクロー	バー」「	で表現る	きれ、い	ろいろ	なとこ
		ろに酉	己置してい	ること	で、視	点を意識	して	学習が進	められる	るように	こ配慮し	ている	0

教 科【体育 】種 目【 保健

1 研究委員氏名

2 報告								_			
発行者の	番号	2		発行	者の略称	東書	<u></u>				
学年別	りの	1 年	2	年	3 年	4	年	5	年	6	年
教科書	番号				3	0 6			5 0	6	
	(1)	内容の特徴・	表現								
	1	児童の身近など	生活と	の関わ	りから、健康	・安全に	こつい	て学習の	内容を	つかみ、	、活
		動を進めるたる	めのコ	夫							
	•	ステップ1でに	は、 É	分の健康	康課題に気付	いたり、	見つり	ナたりつ	できる。	ように	資料
	,	や記入欄が充着	実して	いる。							
観	2	健康で安全など	生活を	実践す	ることができ	る資質を	や能力を	を育成す	けるため	めの具体	体的
		な工夫									
	•	4つの学習過程	呈ごと	に、記力	人欄が設けられ	1、自分	が考え	たこと	を記入	できる	よう
点	i	にしている。									
	3	写真・挿絵・[図書等	学、児童(の興味・関心	• 意欲等	等を喚起	起するた	こめのこ	广夫	
	• ;	挿絵や写真でに	は、固	定的な/	イメージで性の	の区別を	しない	ように	、男女	の比率	や役
別	:	割に偏りがない	いよう	にしてい	いる。						
	•	課題解決のたる	めの資	料が比	較できるよう	な形式で	で示され	れている	5.		
	4	児童の実態に	芯じて	1、一人	ひとりが自ら	課題を持	寺ち、こ	その解決	やに向り	ナて主作	体的
の		に学習を進め、	ていく	ための	工夫						
	• /	健康課題を「	自分こ	<u>゛と」と</u>	して捉えるた	めに、名	各項を	ステップ	プ 1 ~ △	4 の学	習活
		動で構成し、						_			
特	5	補充的、発展的	的、家	を庭での	自主的な学習	を促すが	こめの]	工夫			
	• :	学習内容に関連	重した	情報を	「資料」として	て各項末	に掲載	してい	る。ま	た、各	章で
		の学習内容と、	SDG	sの目標	票との関連を耳	取り上げ	ている	0			
徴	(2)	構成・配列及る	び分量	』、使用.	上の便宜等						
	1	発達段階に応	じた系	統的な	構成の工夫						
	• /	他学年の保健の	の内容	で他教	科の内容の関	連を記り	号で示	している	5.		
	2	内容の配列・	構成な	さどの工芸	夫						
	•	見通しをもって	て学習	できる。	ように、基本	的に1月	頁目を	1 単位師	寺間 4円	頁目で	構成
		している。									
	3	分量や文字、	見やす	つさ、造	本などの工夫						
		ユニバーサルラ				り、紙面	の色数	を限定	したり	して、	落ち
	;	着いたレイア!	ウトに	.なってV	いる。						

教 科【 体育 】種 目【 保健 】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	4	発行者の	の略称	大日本		
学年別の	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
教科書番号			3	0 7	5	0 7

- (1) 内容の特徴・表現
- ① 児童の身近な生活との関わりから、健康・安全について学習内容をつかみ、活動を 進めるための工夫
 - ・各学習項目の初めに「つかもう」を設け、児童に身近な題材を設定している。
 - ・「つかもう」以降を折り込みでかくすことで、課題を自分事として捉えられ、主体的 に学習に取り組むことができるようにしている。
- ② 健康で安全な生活を実践することができる資質や能力を育成するための具体的な工夫
 - ・各小単元に「活かそう」を設定して、実践することができるような工夫がある。
- ③ 写真・挿絵・図書等、児童の興味・関心・意欲等を喚起するための工夫
 - ・学習の参考になる写真やイラストが示されている。
- ④ 児童の実態に応じて、一人ひとりが自らの課題を持ち、その解決に向けて主体的に 学習を進めていくための工夫
 - ・「話し合おう」「調べよう」や教科書の資料をもとに「考えよう」で自らの考えを 書き込むことができる構成となっている。
- ⑤ 補充的、発展的、家庭での自主的な学習を促すための工夫
 - 「もっと知りたい!」では、学習内容に関係する資料が掲載されている。
- 特 (2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等
 - ① 発達段階に応じた系統的な構成の工夫
 - ・第3学年では「身近な生活行動と健康」、第4学年では「体の成長」、第5学年では「心の健康」、第6学年では「病気の起こり方」と系統的な単元構成となっている。
 - 「はってん」として、中学校の保健体育へつがなる内容を提示している。
 - ② 内容の配列・構成などの工夫
 - ・学習内容と関連する学年の内容を示し、系統性のある指導ができるように工夫されている。
 - ③ 分量や文字、見やすさ、造本などの工夫
 - ・針などの使用がなく安全であり、奥までよく開くことができる製本となっている。
 - ・ユニバーサルデザインフォントを使用している。配当学年に合わせた漢字とルビを 使用している。

観

別

点

の

教 科【 体育 】種 目【 保健

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	클		5 0	多	発行者 (の略称)略称 大修館						
学年別の		1	年	2	年	3 4	年	4	年	5	年	6	年
教科書番号							3 (8 (5 (0 8	
(1) 中央の財役 末田													

- (1)内容の特徴・表現
- ① 児童の身近な生活との関わりから、健康・安全について学習内容をつかみ、 活 動を進めるための工夫
 - ・毎時間の導入「課題をつかもう」で身近な話題を提示し、学習課題を「きょうの 課題」として捉え、見通しをもって学習を進めることができる工夫がされてい

観

- ② 健康で安全な生活を実践することができる資質や能力を育成するための具体的な 工夫
 - ・学習したことを生活や行動に活用できるように、記述式のまとめ欄を設けてい

点

- ③ 写真・挿絵・図書等、児童の興味・関心・意欲等を喚起するための工夫
 - ・各単元の扉に著名な日本人の写真を設定し、対話形式で単元の重要な内容に触れ ているため、児童が興味をもって学習を始めることができるように工夫されてい る。
 - ・11種類のマークを随所に設定しており、児童の興味・関心に応じて意欲的に調 べることができるように工夫されている。

0

別

- ④ 児童の実態に応じて、一人ひとりが自ら課題を持ち、その解決に向けて主体的に 学習を進めていくための工夫
 - ・自らの課題を把握し、その課題を解決するための資料の量や学習の流れが工夫されてい る。

特

- ⑤ 補充的、発展的、家庭での自主的な学習を促すための工夫
 - ・ 1 時間の学習内容をウェブクイズで即時確認できるため、児童自ら理解度を確認 でき、家庭での自主的な学習につながるよう工夫されている。

・他学年・他教科の学習内容との関連を示すマークを掲載することにより、教科横 断的な学習となるように工夫している。

- (2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等
- ① 発達段階に応じた系統的な構成の工夫
 - ・扉の見開きを、3・4年生は生活する街、5・6年生はニュースや身の回りの事 柄から学習内容を想起させることにより、視野が広がるよう工夫されている。
- ② 内容の配列・構成などの工夫
 - ・一単位時間の内容が見開きで構成されており、時期を問わず指導を行うことができる。
- ③ 分量や文字、見やすさ、造本などの工夫
 - ・ 筆記特性 (書きやすさ) に優れた用紙を使用していることで、児童が主体的に考 えを表現できるように配慮されている。

徴

教 科【 体育 】種 目【 保健 】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	207	発行者の	の略称	文教社		
学年別の	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
教科 書番号				3 0 9	5	0 9

(1) 内容の特徴・表現

- ① 児童の身近な生活との関わりから、健康・安全について学習内容をつかみ、活動を 進めるための工夫
 - ・各章の初めに、イメージしやすい写真や説明を見開きに配置し、健康課題を意識し ながら学習を進めることができるようにしている。
- ② 健康で安全な生活を実践することができる資質や能力を育成するための具体的な工夫
 - ・アスリートや専門家のアドバイスを記載し、学習した内容を生活につなげやすくしている。
- ③ 写真・挿絵・図書等、児童の興味・関心・意欲等を喚起するための工夫
 - ・新たな疑問をもたせたり、理解を深めさせたりするために、多くのキャラクターが 会話形式で登場している。
- ④ 児童の実態に応じて、一人ひとりが自ら課題を持ち、その解決に向けて主体的に学習を進めていくための工夫
 - ・「学習のめあて」や「本時のMenu」を記載し、見通しをもって学習できるようにしている。
 - ·「Mission」(学習内容)と「Stage」(学習活動)で構成されている。
- ⑤ 補充的、発展的、家庭での自主的な学習を促すための工夫
 - ・各時間の最後に「もう一歩先の自分へ」という記述欄を設けたり、各章の最後に、 「宣言ページ」を掲載したりして、実践につながるようにしている。
- (2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等
- ① 発達段階に応じた系統的な構成の工夫
 - ・中学年では、資料や写真を大きめに記載している。高学年では、資料や写真を多く 記載し、説明も簡潔にまとめられている。
- ② 内容の配列・構成などの工夫
 - ・保健領域と運動領域の関連性を意識づける構成になっている。
- ③ 分量や文字、見やすさ、造本などの工夫
 - ・書体の文字の大きさや色が、ユニバーサルデザインの観点に配慮し、読みやすい。

観

別

点

の

特

徴

教 科【 体育 】種 目【 保健 】

1 研究委員氏名

2 報告

観

点

の

特

徴

発行者の番号	208	発行者(の略称	光文		
学年別の	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
教科書番号			3	1 0	5	5 1 0

- (1) 内容の特徴・表現
- ① 児童の身近な生活との関わりから、健康・安全について学習内容をつかみ、 活動を 進めるための工夫
 - ・毎時間の導入「みつけよう」で身近な話題を提示し、学習課題を「学習の課題」として 学習対象として捉え、見通しをもって学習を進めることができる工夫がされている。
- ② 健康で安全な生活を実践することができる資質や能力を育成するための具体的な工夫
 - ・振り返りができるよう、まとめの段階で「生かそう」の記述欄が設けられている。
- ③ 写真・挿絵・図書等、児童の興味・関心・意欲等を喚起するための工夫
 - ・単元の紹介に4コマ漫画を掲載している。
 - ・巻頭ページに、日本の著名人の写真とコメントを掲載している。
- 別 ④ 児童の実態に応じて、一人ひとりが自ら課題を持ち、その解決に向けて主体的に学 習を進めていくための工夫
 - ・初めに自分の生活経験を振り返る「見つけよう」を設けることで、問題意識を高めてから学習を展開するようにし、児童一人ひとりが自分に合った課題をもち、主体的に学習できるように配慮している。
 - ⑤ 補充的、発展的、家庭での自主的な学習を促すための工夫
 - ・「家の人」とのコミュニケーションを図る内容を各学年に掲載しており、家庭で自 主的な学習を促すように工夫されている。
 - (2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等
 - ① 発達段階に応じた系統的な構成の工夫
 - ・「3・4年生」の最初の単元は挿絵を大きく、情報量を少なめにし、記入欄を広く とり、書きやすい工夫がされている。
 - ・目次に、「3・4年生」では「5・6年生」の内容を紹介し、系統的な見通しを示している。
 - ② 内容の配列・構成などの工夫
 - ・6年「病気の予防」において、章扉を2箇所に設定して小単元とすることで、構成 が分かりやすくなるよう工夫されている。
 - ③ 分量や文字、見やすさ、造本などの工夫
 - ・1時間を見開きで学習できる造本構成であり精選された内容で分量を絞ってある。

教 科【 目【 保健 体育 】種

1 研究委員氏名

2 報告											
発行者の	番号		2 2 4		発行	一者の略称	学研				
学年別	」の	1	年	2	年	3 年	4 年	5 年	(5 d	年
教科書	番号					3	1 1		5 1 1		
	(1) 💆	内容の特	寺徴・表	長現							
	1	児童の	身近な	生活と	の関わ	りから、健康	・安全について	て学習内容	をつかる	ケ、清	舌動
		を進め	るため	の工夫							
観	•	身近な	生活に	ある課題	題など	について、自然	分で振り返った	たり調べた	りする	舌動を	を各
		単元の	導入に	設けて	いる。						
	2	健康で	安全な	生活を	実践す	ることができ	る資質や能力を	を育成する	ための』	具体的	内な
点		工夫									
	•	実験や	体ほぐし	_の運動)、呼吸	法、けがの手	当てなどの実習	冒をとり上け	げている	o	
	3	写真・	挿絵・	図書等、	、児童の	の興味・関心	意欲等を喚起	起するため	の工夫		
別	•	学習の	参考に	なる写	真やイ	ラストが示され	れている。				
	4	児童の	実態に	応じて、	、一人	ひとりが自ら	の課題を持ち、	その解決	に向けて	て主体	本的
		に学習	を進め	ていく	ための	工夫					
の							$\rightarrow 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3$	で構成され	れており) , <u>=</u>	主体
						きる工夫がされ	-				
							を促すためのこ				
特							展的な資料を持		り、学習	望し7	ے گ
		とを広	げたり	、深め	たりす	ることができ	る工夫がされて	ている。			
۸uL	(0)	L#: _I\	11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	~» /\ =	/	1.0/天中株					
徴						上の便宜等					
						構成の工夫 ぐにが訊ける	b 学羽内会)	ァ 間に 古・十 フ:	数拟反	为兴た	エぶ
			のはし ている。		1,77%	く」が放けり/	れ、学習内容に	に関理 9 つき	教件 名*	マ子エ	₩.//³
				。 構成など	ビのエヨ	Ŀ.					
						マ 内容となってV	\ Z				
						『存となって↓ 構成となって↓					
						などの工夫	. ⊘ °				
							こく開くことが こく開くことが	できる製木	ことかっ	てい	る.
							いる。配当学				-
			ている。			. 200/140	- 40 HD-1	, , , , , ,		-)

教 科【外国語】種 目【英語】

1 研究委員氏名

2 報告			•					.		
発行者の都	号	2	発行者	の略称	1	東書	Ť			,
学年別(の	1 年	2 年	3 年		4	年	5 年	6	年
教科書番	号							5 0 9	6 (9
	(]	1)内容の特徴	・表現							
	1	基礎・基本の	の定着を図る	工夫						
		・名前や単語、	文の書き方	が1ペーシ	ジにま	とめ	てあり	、基礎を振り	返りた	ながら
		学習を進め	ることができ	:る。						
観		・各単元に書	く活動が設定	されている	ら。な	ぞり	書きか	ら4線、単語	あらこ	文章へ
# / 6		と段階的に	学習すること	:ができる。						
	2) 充実した言	語活動にする	工夫						
点		・会話を続け	る表現例や発	き表の表現例	前が記	載さ	られてい	いる。		
		・デジタルコ	ンテンツにモ	デル映像や	会話	練習	映像が	ぶあり、画面を	見たり)聞い
		たりしなが	ら対話の練習	をすること	こがて	ぎきる)			
別	3	児童が主体	的・意欲的に	学習に取り)組め	るよ	こうなエ	夫		
		・別冊「My P	icture Dictio	onary」に同	t、ジ	ヤン	ル別に	語句や例文が	記載る	されて
_		いるため、	児童が使いた	い単語をす	トぐに	調~	で書き	写すことがつ	できる。)
の		(2年間で	一冊)							
	4	情報活用能	力や問題解決	能力を育局	はする	ため	りの工夫	ŧ		
特		・「聞いてか	う書く」、「	読んでから	話す		ように	. 5 領域を組み	合わせ	せた活
143		動がある。								
	(5)	日本や外国	の伝統・文化	どや国際社会	会へ理	解を	深める	5工夫		
徴		・様々な文化	を学ぶための	映像資料や	P写真	が多	多数ある) ₀		
		• 絶滅危惧種	や地球温暖化	どなど、今日	的な	課題	夏を取り	上げている。		
	(2	と)構成・配列	及び分量、使	5用上の便宜	了等					
	1	構成・配列	及び分量のエ	夫						
		・聞く、話す、	読むの各活	動が定位置	配配	置さ	れてい	るため、児童	ばが学習	圏の見
		通しをもち	やすい。							
	2	使用上の便	直などの工夫	ŧ						
		モデル字が	左利きの児童	でも見える	5よう	にコ	こ夫され	している。		

教 科【外国語】種 目【英語】

1 研究委員氏名

2 報告								-		
発行者の都	号	9	発行:	者の略称		開隆	堂		1	
学年別(の	1 年	2 年	3	年	4	年	5 年	6	年
教科書番	号							5 1 1	6 1	. 1
	(1)内容の特徴	・表現							
	1	基礎・基本	の定着を図	る工夫						
		・音声から文	字への学習	が円滑に	進むよ	う、単	元の始	がは音声を聞	く活動	かを中
		心とし、後	半は音声	で慣れ親	しんだ	英語を	文字と	結び付ける	活動(Let's
		Listen and	Read)が	設定され	ている。					
観		・書く活動に	スムーズに	取り組め	つるよう	、文頭	頁がグレ	/一で印刷され	ていけ	きり、
		例文が掲載	されていた	りする。						
	2	充実した言	語活動にす	る工夫						
点		・教科書下部	に「Small	Talk J)題材及	び言語	吾材料0	の例が示されて	ている。	
	3	児童が主体	的・意欲的	」に学習に	こ取り組	lめるJ	こうなコ	二夫		
		・見通しをも	って学習に	取り組む	ことが	できる	。 よう、	もくじページ	や各単	4元の
別		冒頭の見開	きページに	、単元の	GO	AL」々	それを	達成するため	の活動	カが示
		されている	o							
	4	情報活用能	力や問題解	は決能力を	育成す	るため	りの工夫	ŧ		
Ø		・QRコードカ	ら教科書の	の音声を問	聞いたり)映像	を見た	りすることが、	できる	ので、
		学校以外の	場所での学	習に活用	するこ	.とがて	できる。			
	(5)	日本や外国	の伝統・戈	化や国際	経社会へ	の理解	解を深め	る工夫		
特		・単元末の「Д	Around the	e World	で、各	単元の	言語材	料を用いて海	外の文	化や
		生活様式な	どを映像で	が紹介して	いる。					
	(2	と) 構成・配列	及び分量、	使用上の	便宜等	<u> </u>				
徴	<u>(1</u>	構成・配列	及び分量の	工夫						
		・各単元の学	習の流れを	分かりや	すくす	るため)、すべ	ての単元が8	時間酯	出当と
		なっている	o							
		・各単元と関	連する他教	対名が示	きされて	いる。				
	2	使用上の便	宜などのエ	夫						
		・年3回の「	Let's Che	ck」でペ	ーパー	テスト	とパフ	オーマンステ	ストを	:実施
		し、総括的	な評価をす	ることか	ぶできる) ₀				
		・言語材料を	まとめた	Word Bo	ok」が	各学年	に別冊	で付いている	0	

教 科【外国語】種 目【英語】

1 研究委員氏名

2 報告										_			
発行者の	番号		1 5		発行	者の略	陈	三省	î堂				
学年別	9	1	年	2	年	3	年	4	年	5	年	6	年
教科書番	号									5	1 3	6 1	. 3
	(1)	内容の	特徴・	表現									
	1	基礎・	基本の	定着を[図る工	夫							
		· 「HOP」	でUnit	の学習	を見通	il, [STEP」	で語句や	や表現を	学習し	, Րյս	MP」で	今まで
		に学習	した表	現や語	句にも	う一度	立ち返	り、それ	いらを使	って自	分のこ	とを表現	見する
		ことで	定着を	図るこ	とがで	きるよ	うにな	っている) _o				
観		「Fun	Box」で	は、音	声で十	分慣れ	親しん	だ語句を	と読んだ	り書い	たりし	ながら、	. 少し
		ずつ丁	寧に文	字を学	習する	ことが	できる	ようにな	くってい	る。			
	2	充実し	た言語	活動に	する工	夫							
点		・聞く	話す→	読む→	書くの	順に学	習が進	むように	こなって	いる。			
		自分の	ことを	伝える記	課題か	ら始ま	り、地	域のこと	:、将来	の夢な	ど少し	ずつ視り	点が広
		がるよ	うな話	題に移行	行して	いる。							
別	3	児童が	主体的	意欲的	的に学	習に取	り組め	るような	工夫				
		・別冊の	ワード	リスト	があり	、児童ス	が自分	の使いた	い内容	によっ	て自由	に調べる	ること
		ができ	るよう	になって	ている。								
の		・他教科	で得た	知識や	青報を	生かせる	るよう	になって	いる。				
	4	情報活	用能力	や問題角	解決能	力を育り	成する	ためのコ	二夫				
		· 一人一	·台端末	を使って	て調べ	、発表	する活	動に適し	た課題	が盛り	込まれ	ている。	
特		·QR⊐-	ードから	音声を	聞いた	りモデ	ル動画	「を見た	りするこ	ことがで	でき、話	計・聞	く活動
		に自主	的に取	り組む	ことが	できる。							
	5							解を深め					
徴								コラム〜		あり、	児童が	国際社会	会に興
		味をも	ちなが	ら理解	を深め	られる。	ように	なってレ	いる。				
	(2)		配列及			上の便ご	直等						
	1		配列及										
								Chant」	等が配	置され	ており	、別冊	「My D
		iction	nary] O)関連す	るペー	-ジが示	されて	ている。					

・巻末にローマ字表、切り離しカード、言語活動用カードがついている。

② 使用上の便宜などの工夫

教 科【外国語】種 目【英語】

1 研究委員氏名

2 報告						-	
発行者の	番号	1 7	発	行者の略称	教出		
学年別	」の	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
教科書	番号					5 1 5	6 1 5
	(1)	内容の特徴・	表現				
	1	基礎・基本の	定着を図るこ	二夫			
		・単元の始めは	音声を聞くる	ころから始まり)、学習が進む	につれて話す	→読む→書く
		へと移ること	で、児童が舞	無理なく学習でき	きるようになっ	ている。	
		• 「Sounds and	Letters] 0	つページでは日本	x語と英語の音	声の違いに着	目したり、文
観		字を書いたり	できるように	こなっており、音	音声から文字へ	の転換が意識	できるように
		工夫されてい	る。				
	2	充実した言語	活動にするこ	二夫			
点		・自分のことか	ら地域、日本	マ、世界へと視点	京が少しずつ広	がるようにな	っている。
		・話す内容やコ	ミュニケー	ノョンについて気	気づきや思考を	促す「Think	」コーナーや
		よりよい言語	活動にするだ	こめの反応例を記	己載している。		
別	3	児童が主体的	・意欲的に気	4習に取り組める	るような工夫		
		・「名所・名物	マップ」や	「ピザづくりのシ	ノール」など児	童の意欲が高	まり、やって
		みたいと思う	ような仕掛け	けがある。			
の	4	情報活用能力	や問題解決能	と力を育成するた	こめの工夫		
		デジタル版ワ	ークシートな	ぶあり、一人一台	3端末を使いや	すい。	
		・QRコードを使	もうと自主学 かんりょう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	習ができる。			
特	5	日本や外国の	伝統文化や国	国際社会への理解	解を深める工夫		
		海外に暮らす	同世代の声々	P学校生活などを	と素材として盛	り込んだコー	ナーがあり、
		海外生活を身	近に感じたり)、理解を深めた	こりすることが	できる。	
徴		・SDG s に関連	した話題に対	対応したイラス)	トを配置し、国	際的な話題に	も触れること
		ができるよう	になっている	ó.			
	(2)	構成・配列及	び分量、使用	目上の便官等			

- (2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等
- ① 構成・配列及び分量の工夫
 - ・巻頭に各lessonでどんなことをするかが記載してあり、見通しをもって学習できる ようになっている。
- ② 使用上の便宜などの工夫
 - ・書く時のアルファベットに近いフォントで、4線の幅の比率も配慮されている。
 - ・ローマ字表、カード、ワークシート、ミニブック等の教材が多くついている。

教 科【外国語】種 目【英語】

1 研究委員氏名

2 報告 発行者の番	号	3 8	発行者	の略称	 光村		
学年別(1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
教科書番	号	-	-			5 1 6	6 1 6
	(1)内容の特徴	・表現	1			
	1	基礎・基本	の定着を図る	工夫			
		・「Step」は	聞く活動から	始まり、チャ	ンツで口を慣	らし、徐々に	話す活動や
		書く活動に	移行するよう	になっている	0		
観	2) 充実した言	語活動にする	工夫			
作兄		・「まとめ」の	言語活動が名	ト学年で 3 箇所	ずつ設定され	ており、それ	までのUnit
		で学んでき	た表現を使っ	た言語活動を	通して、児童	のパフォーマ	ンスの力を
点		見取ること	ができる。				
	3) 児童が主体	的・意欲的に	二学習に取り組	.めるようなエ	夫	
		・見通しをも	って学習に取	なり組むことが	できるよう、	「学年の目標	りや、単元
別		ごとの「GO	OAL」「重点	〔領域」が明示	されている。		
	4	情報活用能	力や問題解決	¦能力を育成す	るための工夫	ŧ	
		・児童の興味	・関心を高め	たり、家庭等	での学習に活	用したりする	ことができ
Ø		るよう、QF	コードを読み	み取ることで、	音声や映像の)他、言語活動	のモデル映
		像を視聴す	ることができ	る。			
特		・ICT機器を	受業に生かし	た小学校の例	を紹介してい	る。	
1,4	(5)			2や国際社会へ			
				飲いられるよう		_	•
徴				2か国の生活		:められている)
	_)構成・配列					
	(1)		及び分量のエ		. 144- 15 ()		
		_	-	tep 2→Jump!	で構成されて	おり、すべて	のUnitが 7
			されている。				
	2		宜などの工夫) - 	(147) T (1-1-	the N
				nary」が巻末		挟み込まれて	おり、必要
		に応じて取	り外して便用	することがで	`さる。		

教 科【外国語】種 目【英語】

1 研究委員氏名

2 報告							
発行者の	番号	6 1	発行者	の略称	啓林館		
学年別	の	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
教科書	野号					5 1 7	6 1 7
	(1)	内容の特徴・	表現				
	1	基礎基本の定義	着を図る工夫				
	•	スモールステッ	ップの各学習	没階にそって、	本時の学習に	関する的確なこ	アドバイス
		がついている。					
	2	充実した言語	舌動にする工	夫			
観	•	単元ごとのチュ	ャンツの活動	では、文中のア	クセントをつ	けるところにテ	歩いマーク
		がついている。					
		吹き出しのセ	リフを聞き、「	映像に合わせて	て言うことで、	話すことと聞	くことが
点		同時に練習で	きる。				
	3	児童が主体的	・意欲的に学	習に取り組める	らような工夫		
		アルファベッ	トの読み書き	の練習では、G	Rコードで書き	き順や発音の動	加画を見る
別		ことができ、	4線には書き	始めの始点が示	Fされている。		
		3回の「Revie	w」では、習得	尋した表現を用	いて自分の考	えを海外に向り	ナて発信す
		る活動があり、	、学習への動	機づけとなって	こいる。		
の	4	情報活用能力	や問題解決能	力を育成するた	こめの工夫		
	•	英語で書かれた	た掲示板やポ	スター、パンフ	レットなどを	読み解くこと	こより、実
		生活に応用で	きる力が身に	付く活動になっ	ている。		
特	(5)	日本や外国の作	伝統・文化や	国際社会への理	Ľ解を深める工	夫	
	•	Did you kno	ow?」では外[国の文化や習慣	tなどを、「Di	d you know?	プラス」で
		はSDGsの取り	組みが写真と	文で紹介され	ている。		
徴	(2)	構成・配列及で	び分量、使用	上の便宜等			
	1	構成・配列及で	び分量の工夫				
	•	各単元10ペ	ージ(part 1~	part 3)で、8 i	単元と3つの	「Review」で	構成されて
		いる。					
		QRコードが各		れ、それぞれ	リンクが設定さ	されている。	
		使用上の便宜を					
	•	巻末にWord I	List、ヘボンラ	式ローマ字表、	Can-Do List	、絵カード(ミシン目あ
		り)の付録がる	ある。				

教 科【 特別の教科 】種 目【 道徳

1 研究委員氏名

2 報告										_			
発行者の都	号		2	発	行者(の略称		東書	<u></u>				
学年別(の	1	年	2	年	3	年	4	年	5	年	6	年
教科書番	号	1	1 2	2 1	2	3 1	2	4	1 2	5 1	1 2	6	1 2
	(1)内容	の特徴	・表現									
	(1		的価値	の理解	を図る	ための	、発達	段階を	を踏まえ	た内容	がの充分	まや創え	意工
		夫	トタのフ	バン	关结的	圧はシェ	ゼッケ	:	本つシュケニ	早に几7世)っ	- A J. 1	トナ 士コ	田云
			名のそ れてい		担 偲的	神旭に	除るな	以言	表が発え	色技階に	合わせ	エに衣	児で
			の内容	- 0	マーク	レ色で	分けら	れては	おり 孝	かれのへ	ミージに	7 反映:	され
		てい		X H W	. /) , ()	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,) , ,	V.1.1 4.2	• (_ ,, 0
観	2)自分	の経験	やその	ときの	考え方	、感じ	方と見	照らし台	合わせな	がら、	物事	を多
			」・多角										
			この「考			_				了視化	ごするだ	こめのこ	ソー
点			して取						- 0	アニンスドナ	がみょ	C1 \ Z ?	· 且 4口
示			んな学 し、子			_							回住
			·し、」 I末に、				•			-		- 0	
	3		の興味									-	科の
別		時間	別外に	家庭等	で活用	したり	できる	ようた	な教材や	字習活	動の_	匚夫	
			に、学										-
			ながる		る」の	コーナ	ーでは	、他都	教科や音	野段の生	活のロ	中での	関連
Ø			されて ぎを広げ	-	ルレー	て デ	ジタョ	ノコン	テンツォ	(すべて	つ数は	オルス田寺	告と
0)		•	いる。	(3) / /	/				/ / / //	-9. (. サンキスル	⁄1 (⊂/π)	引い
	4		語活動] , []	問題解	決的な	学習」	や「ji	首徳的行	う為に関	する体	本験的	な学
		習」	等の多	様な学	習方法	や学習	形態等	の工芸	夫				
特			じて考			題を見	つけて	考え。	よう」と	:多様な	学習フ	5法の	やり
	Œ		紹介さ		-	经	// I	Hm 55:	ァ <i>は</i> フ Bi	=1. 4+2	出って ニ	, a AArs	H (12-64
	(5)		[な地域 関に関						- 徐つ越	划、1月	対でノ	ノル守り	え
徴			と文化						こ係る拳	対材が 6	題示者	されてい	いる。
1-24			的な課										-
		る。											
		・現代	的な課	題とし	て、「	情報モ	ラル」	に係る	る教材が	36題示	されて	ている。	,
		(9) 薜	は ・配	万川乃て以	公昰	は田 L	の価估	· 竺					
		` /	5 (第					- •	5.				
			きのペー						-	車やテー	マがる	まとめ	られ
		てい	- 0										
			のユニ			安全、	いじめ	、情報	報モラバ	し、いの	りち、l	ごぶん)	に
		重点	「がおか	れてい	る。								
	l												

教 科【 特別の教科 】種 目【 道徳

1 研究委員氏名

発行者の習	号	1 7	発行者(の略称	 教出		
学年別(の	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
教科書番	号	1 1 3	2 1 3	3 1 3	4 1 3	5 1 3	6 1 3
	(1	夫 ・各教材に含	の理解を図る まれる道徳的	ための、発達 加価値に係る短 対名のそばに	Eい言葉が、内	羽容項目に関す	
観	2	自分の経験 面的・多角・教材名のそ ている。・各教材末に	やそのときの 的に考えるこ ばに、これま)考え方、感じ とのできる教 での自分の考	方と照らし合 材の内容のI えをゆさぶる	かせながら、 三夫 うような問いか	び設けられ
点	3	す方法等が 児童の興味 時間以外に	紹介されてい 、関心、意欲 家庭等で活用		的・自発的に ような教材や	「学習したり、 『学習活動の』	道徳科の 二夫
別		介されてい ・各教材の最 る。	る。 後に授業で感	いたことを記	は録できる自己	と評価欄が設け	けられてい
Ø	4	ラムが示さ) 「言語活動 習」等の多	れている。 」、「問題解 様な学習方法	対末に「つな 深的な学習」 で学習形態等 のマークが付	や「道徳的行 の工夫	「為に関する体	x験的な学
特		・体験的な学 る。	習の中には、	が示されてい役割演技やモ	ラルスキルト		
徴	(5)	的な課題に ・伝統と文化 ・現代的な課 る。	関わる題材の の尊重、国や 題として、「 き合う」とい	統、文化、人の取り上げ方の の取り上げ方の 郷土を愛する 国際理解・国 いうユニットを)工夫 ・態度に係る教 際親善」に係	対が6題示さ る教材が9題	れている。 i示されてい
	(2	本となって ができる。 ・各学年で特	1 学年は3 4 いるので、地 に重点を置い	田上の便宜等) 教材、示さ 地域や学校で設 いているテーマ がユニットに	れている本教 党定した重点講 ・(命・いじめ	題などに取り情報・日本の	組むこと

教 科【 特別の教科 】種 目【 道徳 】

1 研究委員氏名

発行者の番	年	3 8	発行者(の吹称	 光村						
学年別の		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年				
		•		· ·	· ·	•					
教科書番号		114	2 1 4	3 1 4	4 1 4	5 1 4	6 1 4				
	•)内容の特徴		ナムの ジオ	にルがよう。かまし	た中央の大は	マの創立て				
	(I) 道徳的価値 夫	の理解を図る	ための、発達	段階を踏まれ	_だり谷の元ま	や心制思工				
	・ 2 年生以上では、第 1 教材の中で道徳科で何を学んでいくのかを意識でき										
	るようにしている。										
	・教材名のそばに、道徳的価値に係る短い言葉が発達段階に合わせた表現で										
4 -5	示されている。										
観	2	自分の経験					物事を多				
				とのできる教			まるフ囲い				
		教材名のそ等が示され		での日分の栓	腰や青段の生	活の塚子を製	はい回い				
点			- 0	1.合おう」で	· は 学びのは	かてを明記し	主題に				
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		ぶっされている					
		第2教材では	は、教材に沿	って道徳の学	び方が示され	、教材との対	話、他者と				
				意識できるよ		- 0					
別	3)児童の興味									
						○学習活動の] ※ヘズの数はは					
		学びを広げている。	るノールとし	し、ケンタル	/コンテンフル	主ての教材に	- 川思され				
の		=	つなげよう」	では、他教科	や生活に関連	重して考えるこ	とができ				
			· -	がされている		· • · · · · ·					
		•		い教材には、		=					
		・巻末に、シ					-				
特	(4)) 「言語活動」		· · · -		「為に関する体	「験的な学				
		音」 等 の多		や学習形態等 学びを深める		/ト! ト! て	気持ちを				
						:広げ深めるラ					
徴			用意されてい) <u> </u>	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	• , ,				
	(5)) 身近な地域	やわが国の伝	統、文化、人	.物等に係る題	類材、情報モラ	ル等現代				
				取り上げ方の							
		・伝統と文化・現代的な課題				対が6題示さ					
		・現代的な研える。	因として、「	国际垤酢・国	宗祝音」 に常	はの教的かり 医	INGALCY,				
		-	題として、「	情報モラル」	に係る教材が	ら題示されて	こいる。				
		2	- •	··· · · · · · · · · · · · · · · · · ·	***,***	. = . =	- <u>v</u>				
	(2)構成・配列				د ساملیت	- del 11 \ \ -				
	・2年生以上は、第1教材を「道徳がはじまるよ」とし、読みもの教材は3 4 教材となっている。										
		4 教材とな4 つのユニ	- 0	を許さわい心	自然レレな	に 情報と向	き合う 出				
			こ重点をおい		, pmccb						

教 科【 特別の教科 】種 目【 道徳

1 研究委員氏名

2 報告	£ 🗆		1.0		~	ひ mな エケ		D		1			
発行者の番号		1		<u> </u>	発行者(日文 -				l _	
学年別の		1	年	2	年	3	年	4	年	5	年	6	年
教科書番号		115.	1 1 6	2 1 5	• 2 1 6	3 1 5	3 1 6	4 1 5	• 4 1 6	5 1 5	• 5 1 6	615	616
	(1		の特徴				_						
	(1				な図る								
					内容項	目のキ	ーワー	·ド、導	『人の発	芒 問例、	リー	〝文、ョ	Eな登
		場人物が示されている。 • 4 つの内容項目がマークと色で分けられ、 数材のページに反映されている											
	<u> </u>	・4つの内容項目がマークと色で分けられ、教材のページに反映されている。 ② 自分の経験やそのときの考え方 咸じ方と照らし合わせたがら 物恵を多面											
観	4	② 自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、物事を多面 的・多角的に考えることのできる教材の内容の工夫											
120					-acc Dねらい						・を生た	11して自	自分の
					の発問				. \ 1 / c	7722	^		1)1 *>
┶					では、			_	分の見	上方を広	なげたり)、深め	ろたり
点		する	ことが	紹介さ	れてい	る。							
	3	児童	の興味	、関心	x、意欲	を高め	、自主	的・自	発的に	学習し	したり、	道徳和	斗の時
		間以	外に家	庭等で	活用し	たりて	ぎきるよ	うな教	材や学	学習活動	めの工芸	Ė	
別		教材	と関連	づけた	内容や	活動を	例示し	たコラ	ム「心	いのべい	ノチ」な	5全学年	ドに設
			れてい	- 0				F. V. A.I.					
					的に記								-
の					Bのコラ vが田舎) 教材均	性解を切	リケ、气	どか思角	火を尚々	りるア
	a				゚が用意 見題解決		_	o 「済徒	的行为	シア即っ	トス休眠	金色なる	÷₩
	Œ		· · · · -		法や学		–		7HJ 13/0		1 の子母	スロン・ムコ	
特					では、				、役を	演じた	こりする	ることで	で考え
		を深	める活	- 動等カ	写真付	きで示	されて	いる。					-
	(5) 身近	な地域	やわか	国の伝	統、文	化、人	物等に	係る題	材、情	青報モラ	ラル等理	見代的
徴		な課	題に関	わる題	材の取	り上け	ず 方のエ	夫					
			•		、国や								-
			的な課	題とし	て、「	国際理	解•国	際親善.	」に係ん	る教材	が13	題示さ	れてい
		る。	· h/h チュ言田	日石 〕、1	~ [. 二 元	レゼフ	±4++3:	: 1 1 日	豆二 ケカ	ュアレンフ	,
		• 先们	可がは味	起くし	て、「	目的		に依る) 秋 (7) (7)	4 1 1 正	区小で4	している) ₀
	(2) 構成	• 配列	及びゲ	ѝ量、使	用上の	便官等	<u>.</u>					
					を には34				∤、付属	喜の「道	道徳ノー	ート」で	で構成
		され	ている	0									
		・いじ	め防止	のため	の「人	との関	わり」	ユニッ	・トが年	三3回記	段定され	している	5 。
					、」では					ページで	で構成さ	され、当	を校の
		実態	に合わ	せ自由	に記入	できる	ように	なって	いる。				

教 科【 特別の教科 】種 目【 道徳

1 研究委員氏名

報告 報告									
発行者の番	号	208	発行者	の略称	光文				
学年別(の	1 年	2 年	3 年	4 年	F 5	年	6	年
教科書番号		1 1 7	2 1 7	3 1 7	4 1 7	5 1	7	6	1 7
) 内容の特徴							
	(1)道徳的価値♂							-
		・教材名のそ		負目のキーワー	ード、導入	の発問例、	主な登	^悠 場人4	物が
		示されてい	- 0	また の 春花芸される	ナムナハフ				
	<u> </u>	教材の本文自分の経験			'	•	がた	歩 車 2	たな
	(2			フライカ、感 ことのできる。			かり、	初事?	区罗
観		・各教材の冒!					とめよ	う(終	未)」
7.				·設置し、それ		· · -			–
		ている。	, , , , , , , , ,	., ., .,	• • • • •			•	- ,
		・「道徳の時	間は、こんな	は時間です」	では、友達	の意見から	自分の)考える	を広
点			. , -	ことが紹介され	- 0				
		・巻頭にある		よやり方で考え	えてみよう	」では、思	考ツー	-ルの(列な
	6	どが示され	- 0	<i>,</i> , , , , , , , , , , , , , , , , , ,)	M > = 2/4 ZIZI >	2- 10	\\\\ /	01 -
Ðιl	(3) 児童の興味							件(/)
別		・巻末の「学	•	月したりでき _り では、咸相					しぶ
		できる。	UV) (EW) C]	ては、窓路		(1文未り)記		₹ 9 <u> </u>	C 1/3
		・学びを広げ	るツールとし	て、デジタ)	レコンテン	ツが各学年	10程	度用詞	きさ
の		れている。			. , .	, ,, ,, ,	_ 0 ,_	2/2/197	
	4) 「言語活動」	」、「問題角	军決的な学習 ₋	や「道徳	的行為に関	する体	ぶ 験的7	な学
				よや学習形態等					
		・コラム「み		てみよう!」゛	では、友達	と関係を築	くため	の体験	験的
特			されている。	・ナフ・マル	1 2811 -	\	マート	→ 2 × A ≥) 사 문
		コラム「へであり上げ	こんでも立り られている。	っ但る」では、	、レンリエ	ン人に関わ	る内谷	が空	子午
	(5			云統、文化、	人物等に係	ろ題材 情	報エラ	ル笶田	组代
徴	0			の取り上げ方の		2 VEX.N. 1 H	+K C /	/ · ज:	7614
1-30		・伝統と文化				る教材が、	11題	示され	いてい
		る。							
		・現代的な課題	題として、	「国際理解・国	国際親善」	に係る教材	が10	題示さ	きれて
		いる。	田门)一	「体却をこう)ったッか	.+.+ .	ساما مک	-, , 7	
		・現代的な課	毽として、	「情報セフル」	に係る教	材かイ題亦	3717	いる。	1
		(2) 構成・配	列及び分量	使用上の便′					
		・本教材とし				掲載されて	いる。	また、	第
		1 学年は 6	本、第2学年	下~第6学年	は5本の付	録教材を掲	載して	いる。)
		・各学年で特					ない心	八世』	界中
		のいろいろ	な人とつなか	ぶるために等)	が、示さ	れている。			

教 科【 特別の教科 】種 目【 道徳

1 研究委員氏名

2 報告											
発行者の番号		2 2 4	発行者(の略称	学研						
学年別の		1 年	2 年	3 年	4	年	5	年	6	年	
教科書番号		1 1 8	2 1 8	3 1 8	4 1	8	5 1	. 8	6 1	. 8	
(1) 内容の特徴・表現											
	① 道徳的価値の理解を図るための、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工 夫										
	- 大 ・教材名のそばに「キーフレーズ」を設け、教材への関心をもてるようにし									71.	
	ている。										
	2	自分の経験	やそのときの	考え方、感	じ方と照り	うし合	わせな	がら、	物事を	と多	
# 0			的に考えるこ					• -	r		
観		・教材末の「おおえる」	考えより」で が示されてい		ついて考え	えを深	める間	いや、	発展印	勺に	
		・「道徳の学		- 0	i徳科の学習	図を准	めろた	めの	学習 =	利用	
		が示されて] (16) 10	r h⊡vil 4> 1 E	= C. XE	- V/ W/C	.0000	1 🖽 .	1 / K	
点	3	児童の興味	、関心、意欲	を高め、自	主的・自奏	経的に	学習し	たり、	道徳和	斗の	
		時間以外に家庭等で活用したりできるような教材や学習活動の工夫 ・「心のパスポート」では、教材と関連した情報が示されている。									
		・「心のパス」・学びを深め	_					- 0	= 1 0 4	口座	
別		・子いを保め		ノ、テンタ	ルコング、	/ / ()	7百円ル	6子平	FIUM	主及	
73.3		・ 巻頭に「つながる私 ひろがる私、巻末に「つなげよう 広げよう」を設									
		け、児童が	自身の成長を	振り返るこ	とができる	るよう	にして	いる。			
	\bigcirc) 「言語活動」				恵的行	為に関	する位	体験的な	は学	
の		習」等の多 ・「深めよう」	様な学習方法			歩 の	~ 学ィドナ	がみっ	こたみの	カフ	
			」(は、「つ 学年に応じて			寺り	子いを	休める) / <u>C</u> & <i>J</i> V		
	(5)) 身近な地域			-	系る題	İ材、情	報モラ	ラル等き	見代	
特			関わる題材の								
		・情報モラル					.教材を	・取り」	こげ、記	果題	
		・伝統と文化	えることがで の酋重 国め		-	- 0	オナカミ	1 0 駅	ラティン	てい	
徴		5。	ク サ 里、四、	加上で変り	る配及にで	下る我	7/2J 7/3 V	100	3/1°C4		
I-JA		・現代的な課	題として、「	国際理解•	国際親善」	に係	る教材	が10	題示さ	られて	
		いる。	_								
		・現代的な課	題として、「	情報モラル	⁄」に係る都	数材が	9題示	されて	ている。		
	(2)構成・配列	及7%分量	田上の便宜	*						
	(2	·全35 (第									
	・現代的課題に関わって整理された11のテーマにマークが決められ、目次								目次		
		や教材に付				بنسات	. 1. 1111	(-)			
		「いのち」「いのちユ:							- 0	去	
			ーツァ」「多 ことができる			97-	ユーツ	r] Zi	双化し.	、与	
		1 C C VN V J J		5 7 12.5 7	· · o						